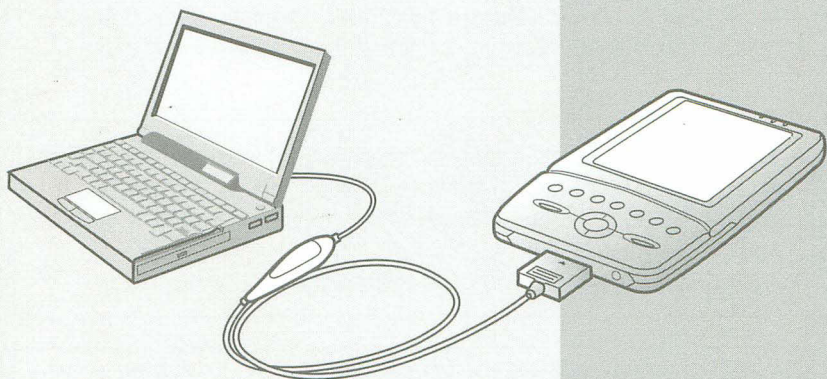
SHARP®

パソコン連携キット

形名 **CE-PCK1**

取扱説明書

CE-PCK1を使って、すぐにパソコンとザウルスとの間で通信してみたい方は、付属の「**かんたん操作ガイド**」をお読みください。

Zaurus

保証書付（巻末）
(WITH WARRANTY CARD)

はじめに

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、この取扱説明書は必ず保存してください。

本書は、ザウルス専用USB接続ケーブルCE-175TUの取り扱い説明と、付属のパソコン連携ソフト「ザウルスパワーコネクションVer.3.2」、「ザウルスパワーリンク for Microsoft® Access 2000/97 Ver.1.1」の機能概要およびインストールの方法、ご注意いただきたい内容を中心に説明しています。**各ソフトウェアの使いかたの詳細は、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください**（7ページ参照）。
また、本製品には「**かんたん操作ガイド**」が付属しています。すぐにパソコンとザウルスとの間で通信してみたい方は、まずこのガイドをお読みください。

ご注意

- お客様、または第三者がこの製品および付属品の使用誤りや使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしていただいても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。このようなときには、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してご使用ください。
- ACアダプターとラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。

なお、くわしくはもよりの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口までご相談ください。

当社では、以下の使用条件をご承認いただいたお客様に、付属のパソコン連携ソフト（以降「本ソフトウェア」と記載）のご使用を許諾させていただいております。
本ソフトウェアをご使用になる前に、以下の使用条件を必ずご確認ください。なお、本ソフトウェアのご使用をもって、この使用条件をご承認いただけたものと判断しております。この取扱説明書をご覧いただき、本ソフトウェアの機能などをご確認のうえ、本ソフトウェアをご使用ください。

ソフトウェアサポートに関して

本ソフトウェアのご使用方法などのご質問に対して、ザウルスに同梱の「ご愛用者カード」または「ユーザーサポートのご案内」に記載のフリーダイヤルで受付対応をいたしております。

使用条件

シャープ株式会社（以下、弊社といいます）は、ザウルスパワーコネクション（ザウルスパワーリンクを含む）の非独占的使用権を下記条件にもとづきお客様に許諾します。お客様は本ソフトウェアのご使用をもって、下記条件に同意されたものとします。

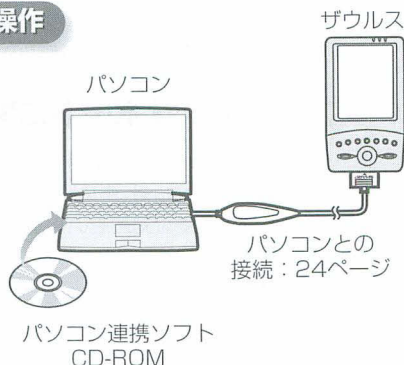
1. お客様は、ザウルスパワーコネクション、ザウルスパワーリンク、USB 接続ドライバーを1台のパソコンでのみご利用いただけます。
2. お客様は、バックアップの目的のためだけに、本ソフトウェアおよび取扱説明書の全部あるいは一部を1コピーに限り複製することができます。
3. 弊社は、本ソフトウェアに関し、電話による使用方法に関する問い合わせあるいは不具合に関するサポートを以下の条件で行います。
   ご使用のザウルス本体から Sharp Space Town にユーザー登録をしていただいている場合に限ります。ユーザー登録をしていただいていない場合には、サポートをお断りする場合があります。
4. 本ソフトウェアを使用された結果お客様に生じた損害に関し、弊社および Extended Systems 社はいかなる補償も行いません。
5. 弊社は、本ソフトウェアの仕様および取扱説明書の内容を将来予告なしに変更することがあります。

使いかたと説明のページのご案内

USB 接続ケーブルとパソコン連携ソフトの使いかたについてご案内します。
知りたい内容・項目を見つけて、説明のページをお読みください。

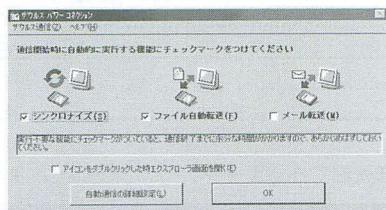
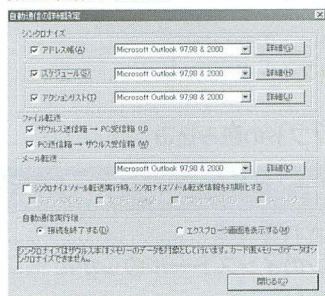
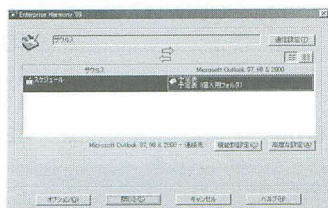
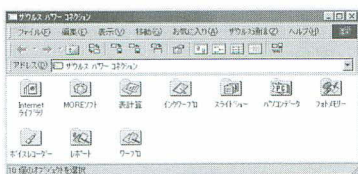
■はじめてお使いいただくときの操作

①付属品の確認：6ページ
②USB接続ドライバーの
　インストール：15ページ
③ザウルスとパソコンの接続：24ページ
④PowerリンクMOREソフトの
　読み込み（必要な場合のみ）：25ページ
⑤パソコン連携ソフトの
　インストール：29ページ
⑥パソコン連携ソフトの設定：34ページ

パソコン連携ソフト
CD-ROM

■主な送受信の方法

パソコン側	ザウルス側	送受信方法
Outlook 2000/98/97	スケジュール アドレス帳 アクションリスト	**シンクロナイズ**： 47ページ
ザウルス送信箱 ザウルス受信箱	PC受信箱 PC送信箱	**送信箱・受信箱での送受信**： 53ページ
メールソフト 	受信簿　送信簿	**メールの転送**： 64ページ
	ザウルスのデータ	**バックアップ/リストア** 71ページ
Access 2000/97	データベースⅡ	**データベースの送受信** ザウルスパワーリンク for Microsoft Access 2000/97のヘルプをお読みください。

■主要な画面の操作

メイン画面の操作：35ページ

設定画面の操作：36ページ

シンクロナイズ画面の操作：37ページ

ザウルスパワーコネクションのエクスプローラ画面の操作：58ページ

■おもな項目

（詳細は次ページのもくじ参照）

はじめに

もくじ
付属品の確認
説明書の案内

接続準備と接続

USB接続ドライバーのインストール
ザウルスとパソコンの接続
「Powerリンク」MOREソフトの読み込み

インストールと設定

コンピュータに必要な環境
インストールのしかた
通信設定のしかた

送受信のしかた

ザウルスパワーコネクションを使っての送受信

ザウルスパワーリンク for Microsoft Access 2000/97を使っての送受信

付録

トラブルシューティング
クレードル/ケーブル通信・光通信
光通信の利用
用語解説
アフターサービス
保証書

もくじ

付属品の確認

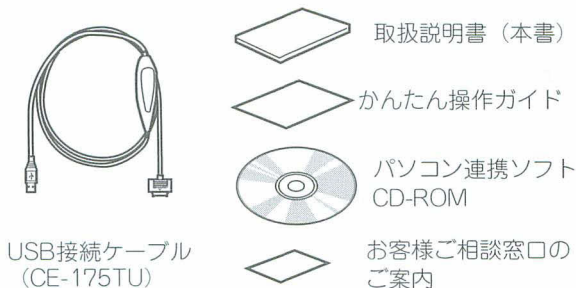
お買いあげ後、次のものがあることをご確認ください。

USB接続ケーブル
（CE-175TU）

取扱説明書（本書）

かんたん操作ガイド

パソコン連携ソフト
CD-ROM

お客様ご相談窓口の
ご案内

説明書の種類と読みかた

かんたん操作ガイド

USB 接続ドライバーのインストールからパソコンとの接続、パソコン連携ソフトのインストール、通信設定、およびザウルスパワーコネクションを使ってのパソコンとザウルスのシンクロナイズの方法やデータ送受信のしかたを簡潔に説明しています。

USB 接続ケーブルを使ってザウルスとパソコン間ですぐに通信してみたい方にお勧めします。

取扱説明書（本書）

USB 接続ケーブルの取り扱いから、ドライバーのインストール、接続のしかたや、「Power リンク」MORE ソフトのインストール、パソコン連携ソフトの機能や制限事項、インストール、通信設定のしかたを詳細に説明しています。

また、USB 接続ケーブルの代わりに、クレードルや、通信ケーブル、光通信での通信のしかたにも触れています。

ヘルプ

パソコン連携ソフトの使いかたの詳細は、ヘルプで説明しています。
ヘルプは以下の操作で起動します。

- **ザウルスパワーコネクション**
  「ヘルプ」メニューの中の「ザウルスパワーコネクション トピックの検索」を選択します。
- **ホームページクリップユーティリティー**
  ［ヘルプ］ボタンをクリックします。

- **ザウルスパワーリンク for Microsoft Access 2000/97**
  Accessの「ヘルプ」メニューの中の「ザウルスパワーリンク for Microsoft(R) Access 2000/97ヘルプ」を選択します。

ヘルプ起動後の操作

- 知りたい内容の目次項目をクリックし、［表示］ボタンをクリックすると説明画面が表示されます。
- ヘルプ画面上部にある［>>］ボタンをクリックすると次の項目のページへ、［<<］ボタンをクリックすると、直前の項目のページへ移動します。ヘルプの各ページを連続して読む場合に便利です。
- ヘルプ画面では、下線の引かれた語句をクリックすると、その語句に関連づけられたページが表示されます。
- 「トピックの検索」（キーワード）ウィンドウでは、キーワードを選択し、［表示］ボタンをクリックするとヘルプ画面が表示されます。

- Windows、Outlook、Access、Word、PowerPointなどのアプリケーションやザウルスの操作方法については、各製品のガイドや説明書をお読みください。
- **説明の中で背景が淡いグレーの用語は、92ページからの用語解説で説明しています。**
  【例】USB：92ページで説明しています。
- 付属のCD-ROMを使ってパソコン連携ソフトのセットアップ画面から各ソフトウェアをインストールする際、画面内の［お読みください］ボタンをクリックし、内容をご確認ください。

パソコン連携キットの概要

パソコン連携キットは、USB接続ケーブルとパソコン連携ソフトなどが収録されたCD-ROMで構成されます。

USB接続ケーブル　CE-175TU

ザウルスと付属のパソコン連携ソフトをインストールしたパソコン間でデータを送受信するための接続ケーブルです。パソコンのUSBコネクターに接続します。
次ページに記載の「使用可能なザウルスの種類」に記載のザウルスとの接続では、最大通信速度は115kbpsとなります。

パソコン連携ソフトCD-ROM

付属のパソコン連携ソフトCD-ROMには、次のソフトウェアが収録されています。

USB接続ドライバー

USB接続ケーブルを使用する場合、パソコンにUSB接続ドライバーをインストールする必要があります。

「Powerリンク」MOREソフト

使用するザウルスが、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-310の場合、「Powerリンク」MOREソフトをザウルスへ読み込む必要があります。

パソコン連携ソフト

ザウルスパワーコネクション

次の機能でザウルスとパソコンとの間でデータのやり取りができます。

- **シンクロナイズ機能**
  ザウルスとパソコン上のOutlook 2000またはOutlook 98、Outlook 97間でお互いのデータを最新のものに更新（シンクロナイズ）します。
- **ザウルス送信箱／ザウルス受信箱**
  ザウルスとパソコンを接続したとき、各箱に保管されていたデータを自動的に転送します。
- **メールの転送**
  パソコンのメールソフトとザウルスのメール送受信簿間でメールの転送を行います。
- **ザウルスパワーコネクションのエクスプローラ画面**
  各種データの送受信をドラッグアンドドロップで行います。

● **ホームページの取り込み**
WWW ブラウザー（Internet Explorer または Netscape Communicator）で表示しているインターネットのホームページのデータをザウルスで閲覧できるファイルに変換して登録します（ホームページクリップユーティリティー）。

● **バックアップ／リストア**
ザウルスのデータをパソコンにバックアップおよびバックアップしたデータのリストア（戻す）を行います。

ザウルスパワーリンク for Microsoft Access 2000/97

● パソコン上の Access 2000 または Access 97 とザウルスのパーソナルデータベース※1 間で、データの送受信を行います。Access に組み込み（アドイン）して利用します。

※1 MI-C1、MI-P10 では「パーソナルデータベースⅡ」、MI-P1/MI-P2 シリーズ、MI-310 では「パーソナルデータベース」、MI-EX1 では「マイコンテンツ」と呼びます。

使用可能なザウルスの種類

MI-E1、MI-C1、MI-P10、MI-P1/MI-P2 シリーズ※2、MI-J1※2、MI-EX1※2、MI-310※2

上記以外のザウルスではご使用になれません。

※2：付属の CD-ROM に収録の「Power リンク」MORE ソフトを本体に読み込む必要があります。

本パソコン連携ソフトに対応した、ザウルス側の機能や MORE ソフトは、機種によって異なります。使用できる機能や MORE ソフトについては、それぞれのザウルスの取扱説明書をご覧いただくか、Sharp Space Town のホームページ(http://www.zaurusworld.ne.jp/) でご確認ください。

使用可能なパソコン環境

● OS：Windows 98/Me 日本語版（Windows 2000 Professional 日本語版での動作確認済み。ただし、Windows Me の赤外線通信（光通信）には対応しておりません。）
● CPU：Pentium150MHz 相当以上（300MHz 以上推奨）
● メモリー：32MB 以上（64MB 以上推奨）
● ハードディスク空き容量：40MB 以上
● 詳しくは 29 ～ 30 ページをご覧ください。

USB 接続ケーブルの仕様

形　　　名	CE-175TU
品　　　名	USB 接続ケーブル
使用コネクター	本体接続端子（ザウルス本体のオプションポート 16 との接続用）、USB コネクター(パソコンの USB コネクターとの接続用)
ケーブル長	本体接続端子側：約 110 cm USB コネクター側：約 30 cm
質　量	約 45 g
付　属　品	取扱説明書（本書）、かんたん操作ガイド、パソコン連携ソフト CD-ROM、お客様ご相談窓口のご案内

パソコン連携ソフトの各機能で送受信できるデータ

下の表で、各機能の○または△印の付いている項目がザウルスとパソコン間で矢印の方向に対してデータのやりとりができます。両端に矢印のあるものは双方向（送受信）に可能です。
なお、ザウルスが以下の機能を持たなかったり、対応するMOREソフトが読み込まれていない場合、データのやりとりはできません。

ザウルス側の機能		パソコン側のファイル	ザウルスパワーリンクfor Microsoft Access 2000/97	ザウルスパワーコネクション：ホームページクリップユーティリティー	ザウルスパワーコネクション：ザウルスパワーコネクションのエクスプローラ画面	ザウルスパワーコネクション：ザウルス送信箱／受信箱	ザウルスパワーコネクション：シンクロナイズ／メール転送
通常スケジュール/期間スケジュール	←→	Outlookの予定表のデータ					○
アクションリスト	←→	Outlookの仕事のデータ					○
アドレス帳	←→	Outlookの連絡先のデータ					○
受信簿のメール	←→	受信トレイ（Outlook、Outlook Express）					○
	←	受信フォルダ（Eudora）					△
送信簿のメール ※1	→	送信トレイ／送信フォルダ					○
Internetライブラリ	←	PowerPoint（HTML形式）			△	△	
MOREソフト	←	MOREソフトファイル			△	△	
スライドショー	←	PowerPoint（JPEG形式）			△	△	
パソコンデータ	←→	パソコン用ファイル			○	△	
フォトメモリー	←→	JPEG, GIF形式ファイル			○	○	
ボイスレコーダー	←→	WAVE形式ファイル			○	○	
レポート	←→	テキストファイル			○	△	
ワープロ	←→	Wordファイル、RTFファイル			○	○	
表計算	←→	ExcelのXLS形式ファイル			○	○	
インクワープロ ※2	←→	テキストファイル			○	△	
Internetライブラリ	←	WWW上のホームページデータ		△			
パーソナルデータベース	←→	Accessのデータベースデータ	○				

△：パソコン側からザウルスへのみ転送可能です。

※1 Outlook：未送信メールと送信済みメールが対象です。
Outlook ExpressとEudora：未送信メールのみが対象です（送信済みメールは転送できません）。
※2 インク文字の送受信は不可。

パソコンとの接続準備と接続

USB 接続ケーブルを使ってザウルスとパソコン間でデータの送受信を行うには、以下の操作が必要です。**必ずこの順番に操作してください。**

(1)USB接続ドライバーのインストーラを起動 ･･････････ (15ページ参照)

↓

(2)USB接続ケーブルをパソコンに接続 ･･････････････ (16ページ参照)

↓

(3)ドライバーのセットアップウィザードが起動 ････････ (17～23ページ参照)
ウィザードに従って、ドライバーをインストール

↓

(4)MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-310を使用の場合に限り、ザウルスに「Powerリンク」MOREソフトを読み込む ････････････････････････････ (25ページ参照)

↓

(5)パソコン連携ソフトのインストール ･･････････････････ (29ページ参照)

この章では、(1)～(4)の操作を説明します。

- パソコンによっては、この製品を使ってザウルスと通信できない場合があります。
- この製品の使用にあたっては、本書および接続しようとするパソコンの仕様などを十分に調べて、あらかじめ接続できることをご確認のうえご使用ください。また、29 ページに記載されている必要な環境を確認してください。
- シリアルポートを使ったケーブル通信や光通信を利用する場合は、82 ページを参照ください。クレードルを使って接続する場合は、クレードルに付属の取扱説明書もご覧ください。

USB ポートについて

USB 接続ケーブルを使ってザウルスとパソコンを接続する場合、USB ポートを使用します。

- Windows 95 からアップグレードしたパソコンでの動作は保証できません。
- 工場出荷時に USB ポートが装備されていないパソコンに、ユーザーが USB ポートを追加したパソコンの場合、正しく動作しないことがあります。
- パソコンの USB コネクターや USB ハブによっては、USB 接続ケーブルを接続しても動作しないことがあります。
  パソコンに USB コネクターが複数個ある場合は、別のコネクターに差し替えてみてください。
- USB 接続ケーブルの差し込みは、パソコンに電源が入った状態でも可能です。
- パソコンによっては、省電力モード（サスペンド / レジューム機能やスリープ機能など）で、USB ポートが動作しなくなる場合があります。そのときは、省電力モードを無効に設定してみてください。
- USB ハブによっては、パソコンの USB コネクターに直接接続しないと正常に動作しないものもあります。また、USB 延長ケーブルをご使用の場合も、正しく動作しないことがあります。
- 1 台のパソコンにUSB接続ケーブルと、他のUSB機器を同時に接続し、複数のUSB機器を同時に使用した場合、正常に動作しないことがあります。

USB 接続ケーブル取り扱い上のおねがい

- CE-175TU をパソコンやザウルスから取り外すとき、コードを引っ張って取り外さないようにしてください。故障の原因となります。
- CE-175TU をザウルス本体に取り付けた状態で、コードを引っ張ってザウルス本体を持ち上げるようなことはしないでください。コネクター部やコード部が破損したり、ザウルス本体が外れて、落ちて故障の原因となります。
- ぐらついた台の上や、不安定な場所に置かないでください。落ちて故障の原因となります。

- 落としたり、強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- 使用時は、コネクター部に力を加えないようにしてください。接続部分に強い力がかかり、故障の原因となります。
- コネクター部には、直接手を触れないでください。内部の回路が静電気などによって壊れることがあります。
- CE-175TUをパソコンから取り外すときは、ザウルスパワーコネクションの接続待機状態をオフするなど通信状態を解除または終了させてから行ってください。
- CE-175TUをザウルス本体に接続または取り外すときは、ザウルス本体の電源を切ってから行ってください。
- 防水構造になっていませんので、水など液体がかかるところでの使用や保存は避けてください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。
- 直射日光が当たる場所や車の中、暖房器具の近くなど、高温になる場所には放置しないでください。故障の原因となります。
- ホコリの多い場所、湿気の多い場所でのご使用、放置は避けてください。故障の原因となります。
- ズボンの後ろのポケットには入れないでください。座ったときなどに壊れることがあります。
- お手入れには、乾いた柔らかい布をご使用ください。揮発性の液体(シンナー、ベンジンなど)や、ぬれた布などは使用しないでください。変質したり、色が変わったりすることがあります。

USB 接続ドライバーのインストール

USB 接続ケーブルを使ってザウルスとパソコン間でデータの送受信を行う場合、USB 接続ドライバーをパソコンにインストールする必要があります。

- USB を持たないパソコンやクレードル / ケーブル通信、光通信を利用する場合、USB 接続ドライバーのインストールは不要です。

1 Windows を起動します。

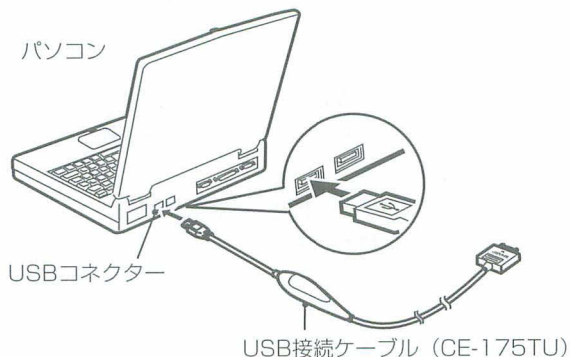
- 他のすべてのアプリケーションを終了してください。ウィルスチェックソフトも終了（または機能を停止）させてください。
- Windows 2000 Professional の場合は、Administrator 権限を持つユーザー（通常、システム管理者と呼ばれます）がログオンしてインストール操作をする必要があります。

2 付属の CD-ROM をドライブにセットします。

- 自動的にパソコン連携ソフトセットアップ画面が表示されます。

- **パソコン連携ソフトセットアップ画面が表示されないときは…**
  以下の操作を行ってください。
  ❶ ［スタート］ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行 ...」をクリックします。
  ❷ ［参照］ボタンをクリックして「ファイルの参照」ダイアログボックスから「(CD-ROM ドライブ名):(例 D:)」内の「Install.exe」を選択して［開く］ボタンをクリックします。
  ❸ ［OK］ボタンをクリックします。

3 USB 接続ケーブルをパソコンのUSB コネクターに接続します。

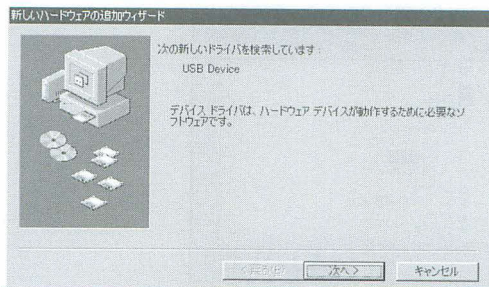
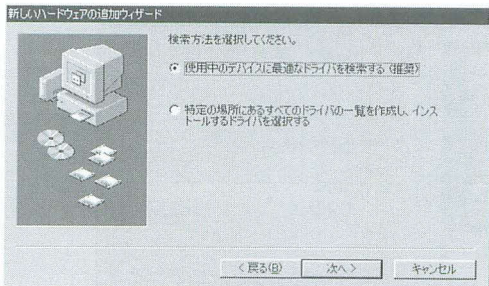
- 接続方法については、それぞれのパソコンの取扱説明書も併せて参照してください。

- ドライバーのセットアップウィザードが起動します。
  セットアップウィザードに従って操作します。

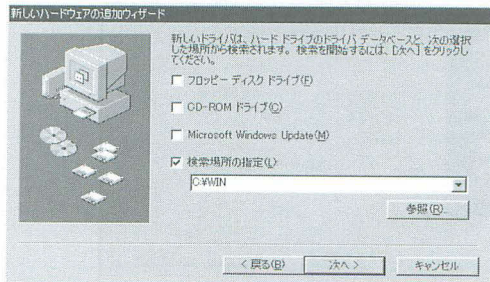
- USB 接続ケーブルをパソコンに接続したとき、ドライバーのセットアップウィザードが起動しなかった場合は、USB 接続ケーブルが確実にUSB コネクターに装着されているか確認してください。また、接続したUSB ポートが使用可能になっているかどうか、パソコンの取扱説明書を参照してご確認ください。
  お使いのパソコンにUSB コネクターが複数個ある場合は、別のコネクターに差し替えると、正しく動作することがあります。

4 使用のOS に合わせて操作をしてください。

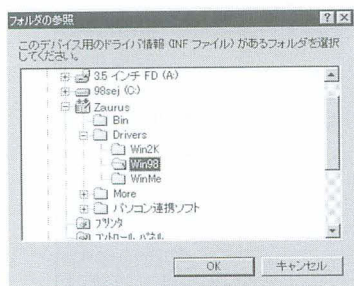
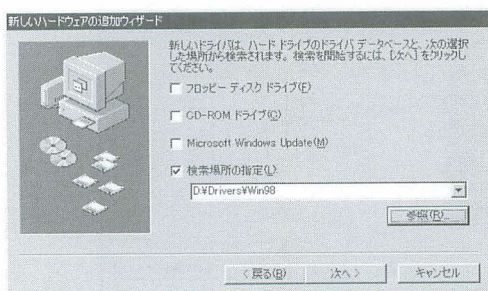
- コンピュータの状態によっては、以下に記載の画面が表示されない場合や、自動的にディレクトリが選択され、インストールが進行する場合があります。

Windows 98の場合

❶「新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」のメッセージを一時表示後、次のダイアログボックスが表示されます。

❷［次へ>］ボタンをクリックします。

❸「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択して、［次へ>］ボタンをクリックします。

- 上の画面のように「検索場所の指定」のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。他のチェックボックスをクリックしてチェックを消します。

❹ [参照] ボタンをクリックして、フォルダを指定します。

【例】CD-ROM ドライブが「D」の場合、「D:¥Drivers¥Win98」フォルダを指定します。「D」の部分は、お使いのパソコンに合わせて変更してください。

❺ [OK] ボタンをクリックします。

❻ [次へ>] ボタンをクリックします。

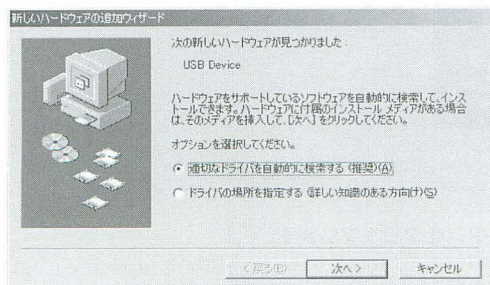
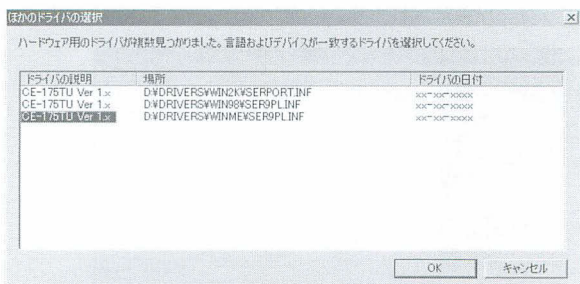
(「Ver 1.x」の「x」には、バージョン番号の小数点以下の数字が入ります。)

❼［次へ>］ボタンをクリックします。
ドライバがインストールされます。インストール後、次のダイアログボックスが表示されます。

❽［完了］ボタンをクリックします。

- ［完了］ボタンのクリック後、「不明なデバイス」のメッセージボックスが表示されることがありますが、USB 接続ドライバーは正常にインストールされています。

Windows Me の場合

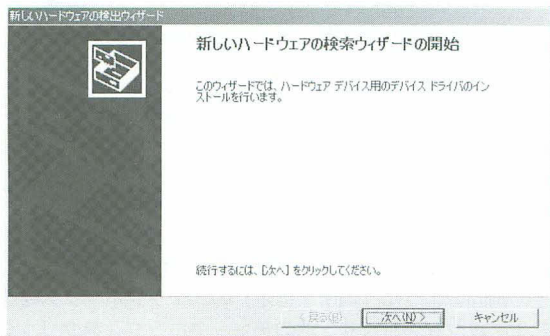
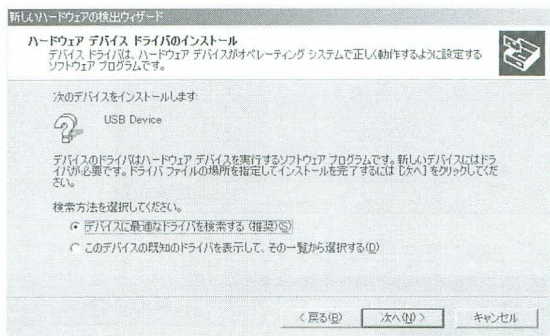
❶「新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」のメッセージを一時表示後、次のダイアログボックスが表示されます。

❷「適切なドライバを自動的に検索する（推奨)」を選択して、[次へ>]ボタンをクリックします。

- 上のような画面が表示されたときは、ドライバーを選択します。CD-ROM ドライブが「D」の場合、「場所」に「D:¥DRIVERS¥WINME¥SER9PL.INF」が表示されている行の「CE-175TU Ver1.x」(「x」は数字）をクリックして選択します。「D」の部分は、お使いのパソコンに合わせて表示が変わります。

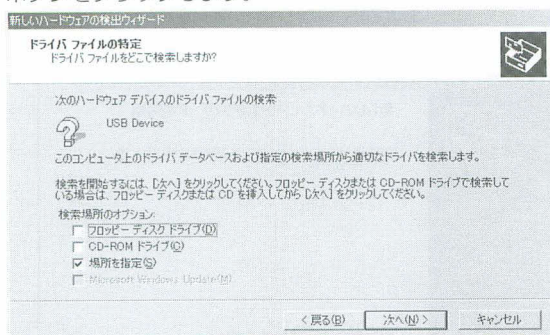
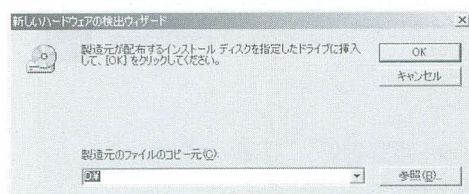
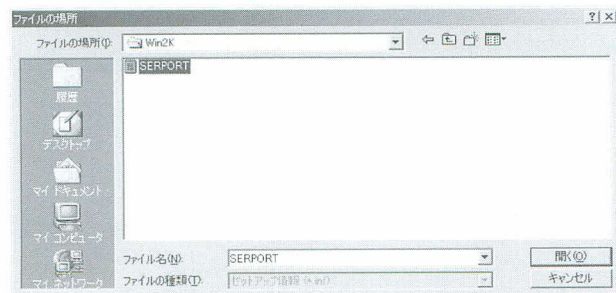
❸[OK] ボタンをクリックします。

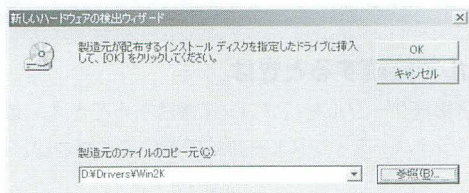
ドライバがインストールされます。インストール後、次のダイアログボックスが表示されます。

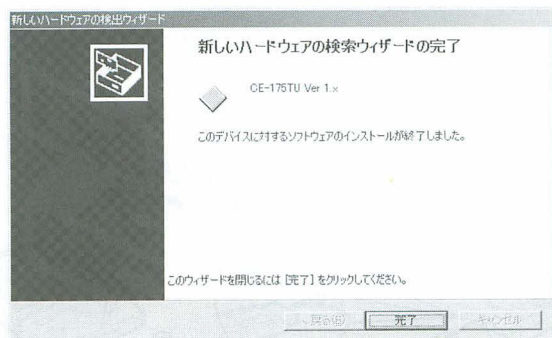
❹[完了] ボタンをクリックします。

Windows 2000 Professionalの場合

❶「新しいハードウェアが見つかりました」のダイアログボックスを表示後、次のダイアログボックスが表示されます。

❷［次へ>］ボタンをクリックします。

❸「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択して、[次へ>] ボタンをクリックします。

- 上の画面のように「場所を指定」のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。他のチェックボックスをクリックしてチェックを消します。

❹ [次へ>] ボタンをクリックします。

❺ [参照] ボタンをクリックします。

- CD-ROM ドライブが「D」の場合、上の画面のようになるように「D」－「Drivers」－「Win2K」を順次選択し、「ファイル名」に「SERPORT」を表示させます。「D」の部分は、お使いのパソコンに合わせて変更してください。

❻ [開く] ボタンをクリックします。

❼ ディレクトリを確認して [OK] ボタンをクリックします。
ドライバがインストールされます。インストール後、次のダイアログボックスが表示されます。

❽ [完了] ボタンをクリックします。

- 途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」ダイアログボックスが表示されたときは、[はい] ボタンをクリックしてください。
- 画面に「このデバイスは正しく構成されていません。」の内容が表示されることがありますが、USB 接続ドライバーの動作には支障はありません。

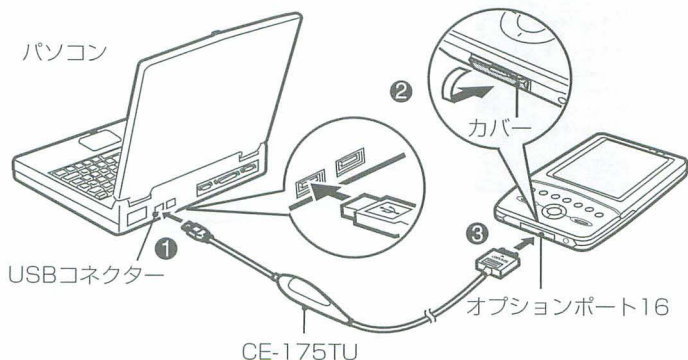
パソコンとザウルスの接続

USB 接続ケーブルで接続するときは

- 初めて USB 接続ケーブルをパソコンに接続するときは、あらかじめ USB 接続ドライバーをインストールしておいてください。(15 ページ参照)

❶ USB 接続ケーブルの USB コネクターをパソコンの USB コネクターに接続します。

❷ ザウルスの電源を切り、オプションポート 16 のカバーを開いて収納します。

❸ USB 接続ケーブルのもう一方のコネクターをオプションポート 16 に挿入します。

USB 接続ケーブル以外で接続するときは

- クレードルを使用の場合：クレードルに付属の取扱説明書参照
- 光通信の場合：85 ページ参照
- ケーブル通信の場合：86 ページ参照

「Power リンク」MORE ソフトの読み込み

ザウルスが MI-P1/P2 シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-310 の場合のみ操作してください。

MI-P1/P2 シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-310 でパソコンとザウルス間でデータの送受信を行うには、CE-PCK1 に付属の CD-ROM に収録の「Power リンク」MORE ソフトを以下の説明に従ってザウルスに読み込む必要があります。

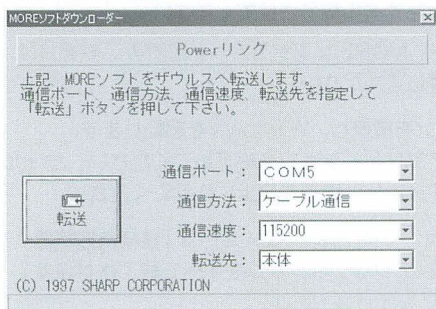
- **MI-E1、MI-P10、MI-C1** の場合、「Power リンク」MORE ソフトの読み込みは必要ありません。（最初からザウルスに機能が収録されています。）

読み込み操作を行う前に、以下のことを確認してください。

- **ザウルスパワーコネクション（すでにインストールされていた場合）や PowerPIMM、FAX 受信ソフトなど、パソコン側で通信ポートを占有するソフトの「接続待機状態」や「自動通信状態」を解除し、アプリケーションをすべて終了させてください。**
- 「Power リンク」MORE ソフトをカードに読み込む場合は、カードをザウルスに装着してください。

1. ザウルスとパソコンを接続し、Windows を起動します。
   - 他のすべてのアプリケーションを終了してください。ウィルスチェックソフトも終了（または機能を停止）させてください。
2. パソコン側で通信ポートを占有するソフトの「接続待機状態」や「自動通信状態」を解除し、アプリケーションをすべて終了させます。
3. 付属の CD-ROM をドライブにセットします。
   - 自動的にパソコン連携ソフトのセットアップ画面が表示されます。
   - 表示されないときは、15 ページの「●パソコン連携ソフトセットアップ画面が表示されないときは…」を参照ください。

4 「Powerリンク」MOREソフトのダウンロードの開始準備をします。

❸ 「「Powerリンク」MOREソフトダウンローダーの起動」画面で［開始］ボタンをクリックします。
次の画面が表示されます。

5 転送条件を設定します。

- 通信ポート
  USB接続ケーブルをお使いのときは、そのままの設定でお使いください。もし、その設定で通信できないときは、76～77ページを参照して適切なポート番号を設定してください。
  クレードル／ケーブル通信をお使いの場合、適切なポート番号を設定します（通常は「COM1」）。光通信をお使いの場合は、89ページを参照して設定してください。

- 通信方法
  USB 接続ケーブルまたはクレードル / ケーブル通信をお使いの場合は、「ケーブル通信」を、光通信をお使いの場合は、「光通信(IrDA115K)」を選択してください。
- 通信速度
  通常は「115200」を選択してください。
- 転送先
  「Power リンク」MORE ソフトの転送先を「ザウルス本体」、「カード」のいずれかを選択します。
  本体メモリーに約 260KB 以上の空きがない場合は、カード（市販品）に転送してください。使用できるカードについては、ザウルスの取扱説明書を参照してください。

6 ザウルスで MORE ソフトの読み込み準備をします。

❶ MORE ソフトの画面を表示します。

MI-P1/P2 シリーズ、MI-J1：ホーム（またはオリジナル画面）で [機能を追加]、[MORE 実行 / 停止 / 読込 / 削除] の順にタッチします。

MI-EX1：[電源] ボタンを押し、[オリジナル]、[MORE] タブ、[MORE 管理] の順にタッチします。

MI-310：[MORE] キー、[MORE 追加 / 削除] の順にタッチします。

❷ MORE ソフト」を読み込む画面を表示します。

MI-EX1：[取る] にタッチして、パソコンリンク画面にします。

MI-P1/P2 シリーズ、MI-J1、MI-310：[読込] にタッチしてパソコンリンク画面にします。

❸ パソコンからの転送方法に合わせて設定します。

	USB接続ケーブル、クレードル/ケーブル通信	赤外線通信
ポート選択	オプションポート16	光通信ポート
通信速度	115200bps	（設定する必要なし）

❹ [実行] にタッチします。

7 パソコン側で［転送］ボタンをクリックします。
「確認」画面で［はい］ボタンをクリックすると、ザウルスへの転送が開始されます。転送が完了するまで、しばらくお待ちください。

8 ザウルスでMOREソフトを展開します。

❶ MOREソフトの画面を表示します（上記手順 6 の ❶ 参照）。

❷「Powerリンク」MOREソフトをカードに読み込んだ場合は、［カード］にタッチします。

❸［ZPLX.ZAC］にタッチし、［展開］にタッチします。

9 MOREソフト画面に「Powerリンク」が表示された後、ザウルスの電源を切り、リセット操作をします。

- リセット操作を行うことで、「Powerリンク」MOREソフトが使用できる状態になります。リセット操作については、ご使用のザウルスの取扱説明書をご覧ください。
- ザウルスのMOREインデックス画面やオリジナル画面などに「Powerリンク」アイコンが表示されていることを確認してください。

パソコン連携ソフトのインストールと設定

必要な環境とインストールされる機能

各ソフトウェアを使用するには、以下の環境が必要です。(2000 年 10 月現在)

	ザウルスパワーコネクション	ザウルスパワーリンク
OS	Microsoft Windows 98/Me 日本語版 (Windows 2000 Professional 日本語版でも動作確認済みです。)	
CPU	Pentium 150MHz相当以上 (Pentium 300MHz以上推奨)	
メモリー	32MB以上 (64MB以上推奨)	
アプリケーション	Word 2000/98/95 (※2) Excel 2000/97/95 (※2) PowerPoint 2000/97/95 (※2) Outlook 2000/98/97または Outlook Express 4/5/5.5(※3) Microsoft Internet Explorer 4.0/5/5.5 またはEudora 4.3-J、Netscape Communicator 4.0/4.5/4.6/4.7 (※4)	Access 2000/97
ハードディスク空容量	30MB以上	10MB以上
ディスプレイ	使用するOSに対応したパソコンに接続可能なカラーディスプレイ	
日本語環境	使用するOSに準じます。	

※1：Windows 95 からアップグレードしたパソコンでは、USB 接続ケーブルでの動作を保証しません。
(推奨環境のすべてのパソコンでの動作を保証をするものではありません。)
なお、Windows Me の赤外線通信 (光通信) には対応しておりません。

※2：各アプリケーションのデータファイルをパソコンとザウルスの間で送受信する場合に必要です。

※3：Outlook は、ザウルスとの間でシンクロナイズを行う場合に必要です。
また、Outlook、Outlook Express、Eudora のいずれかは、ザウルスとの間でメール転送を行う場合に必要です。

※4：「ホームページクリップユーティリティー」を使用する場合に必要です。

インストールに必要なソフトウェアについて

パソコン連携ソフトのインストールとセットアップを行うパソコンは、OSのインストールとセットアップが正しく行われ、さらに次に示すソフトウェアがインストールされている必要があります。インストールされていないと、該当する機能がインストールされません。インストールできなかったソフトウェアは、後からインストールできます。

パソコン連携ソフトの機能	インストールするために必要なソフトウェア
ザウルスパワーコネクション	
データ送受信機能	—
メール転送機能	—
バックアップ/リストア機能	—
シンクロナイズ機能	Outlook 2000/98/97
ホームページクリップユーティリティー機能	Microsoft Internet Explorer 4.0/5/5.5 または Netscape Communicator 4.0/4.5/4.6/4.7
ザウルスパワーリンク	Access 2000/97

● 既に古いバージョンのザウルスパワーコネクションがインストールされている状態では、インストールできません。古いバージョンのザウルスパワーコネクションを削除（アンインストール）してからインストールしてください。

● ザウルスパワーコネクションのシンクロナイズ機能（Enterprise HARMONY '99）を利用する場合、ザウルスパワーリンク for Microsoft Outlook97/98 がインストールされていたときには、あらかじめ削除（アンインストール）しておいてください。ザウルスパワーリンク for Microsoft Outlook97/98 の削除のしかたは、そのソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

ザウルスパワーコネクションのインストールのしかた

付属の CD-ROM を使ってパソコン連携ソフトをインストールします。

- 30 ページの表の「インストールするために必要なソフトウェア」欄のソフトがパソコンにインストールされていないと、パソコン連携ソフトの機能がインストールされません。なお、あとから必要なソフトをパソコンにインストール後、再インストールすると、インストールできなかった機能を追加してインストールできます。
- **USB 接続ケーブルを使ってザウルスとパソコンを接続する場合は、パソコン連携ソフトをインストールする前に USB 接続ドライバーをインストールしておいてください**（15 ページ参照）。USB 接続ドライバーがインストールされていると、パソコン連携ソフトのインストール時に、USB 接続ケーブルで通信するように設定されます。
  ※ もし、USB 接続ドライバーよりも先にザウルスパワーコネクションをインストールしてしまった場合は、「トラブルシューティング」（76 ページ）をご覧ください。
- ザウルスパワーコネクション Ver.1.0 ～ 2.0 でバックアップしたバックアップファイル「xxxxx.ZPE」はザウルスパワーコネクション Ver.3.2 ではリストアできません。
  ザウルスパワーコネクション Ver.3.2 をインストールする前に必要に応じて、ザウルスにリストアしてください。（バックアップしたザウルスとは別のザウルスへのリストアはしないでください。データが読めなくなるなどの障害が発生します。）

ここでは、CD-ROM ドライブが D、ハードディスクのドライブが C の場合を例に説明します。ドライブ構成がお使いのパソコンと異なる場合、それぞれ読み変えて操作してください。

1 Windows を起動します。
- 他のすべてのアプリケーションを終了してください。ウィルスチェックソフトも終了（または機能を停止）させてください。
- Windows 2000 Professional の場合は、Administrator 権限を持つユーザー（通常、システム管理者と呼ばれます）がログオンしてインストール操作をする必要があります。

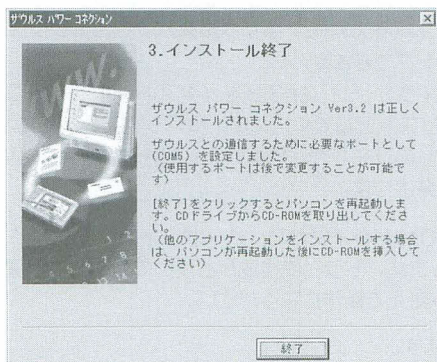
2 付属の CD-ROM をドライブにセットします。
- 自動的にパソコン連携ソフトのセットアップ画面が表示されます。
- 表示されないときは、15 ページの「●パソコン連携ソフトセットアップ画面が表示されないときは…」を参照ください。

3 インストール操作を行います。

❶ クリックして、表示される内容をお読みください。読み終わったらメモ帳を終了します。

❷ クリックします。

❸ インストールが始まります。表示される内容に従って操作してください。

4 インストールが正常に終了すると次のように表示されます。

- ザウルスと通信できる通信ポートについてのメッセージが表示されていることを確認してください。
  インストールが正常に終了しないと、シンクロナイズやデータの送受信はできません。
- 通信ポートの検出に失敗した旨のメッセージが表示されているときは、トラブルシューティング（76ページ）をお読みください。

5 メッセージを確認後［終了］ボタンをクリックします。
Windowsが再起動します。
再起動後、パソコンの画面（デスクトップ）と画面右下のタスクバーに次のアイコンが表示されていることを確認してください。

※1：ホームページクリップユーティリティーに必要なソフトウェア（30ページ参照）がパソコンにインストールされなかったときは、インストールされずアイコンも表示されません。
※2：USB接続ケーブルを使用するように設定されている場合、実際にUSB接続ケーブルが接続されていないと、接続待機状態にはなりません。

- バージョン3.0より前のザウルスパワーコネクションをお使いだった場合、パソコンによっては、上記どおりのアイコンが表示されないことがあります。
- CD-ROMをドライブから取り出します。
付属のCD-ROMは大切に保管しておいてください。

通信設定のしかた

ザウルスパワーコネクションパワーコネクションのインストールが正常に終了したとき、以下のように設定されています。

通信方法　：あらかじめUSB接続ドライバーがインストールされていた場合、USB接続ケーブルが使えるよう「CE-175TU」が選択されます。
USB接続ドライバーがインストールされていなかった場合、「クレードル／ケーブル通信」が選択されます。

ポート　：USB接続ケーブルまたはクレードル／ケーブル通信の場合、使用可能なポート番号を探して設定（例：COM1、COM5など）されます。

転送スピード　：115200 bps

通信設定　：接続待機状態になります。接続待機状態では、ザウルス側でPCリンク（Powerリンク）の実行開始操作を行ったときに、ザウルスパワーコネクションとザウルスとの間で自動的に通信が開始されます。（44〜46ページの「ザウルスの操作」参照）

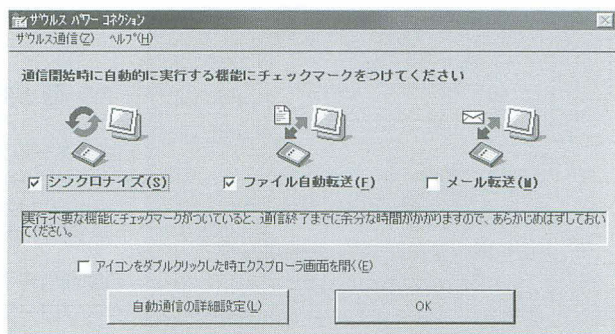
● これらの設定内容を変更したいときは、ザウルスパワーコネクションのヘルプの「3.4.2 通信条件設定」をご覧ください。

ザウルスパワーコネクションの設定

自動通信を行う項目を設定するには

ザウルスとパソコンを接続（24ページ参照）し、ザウルス側でPCリンク（Powerリンク）の実行開始操作（44～46ページの「ザウルスの操作」参照）を行うと、上記の設定内容に従ってシンクロナイズやデータ転送が自動的に行われます。

1. パソコンのデスクトップ上の ザウルス パワー コネクション のアイコンをダブルクリックします。

パワーコネクションのメイン画面が表示されます。

メイン画面

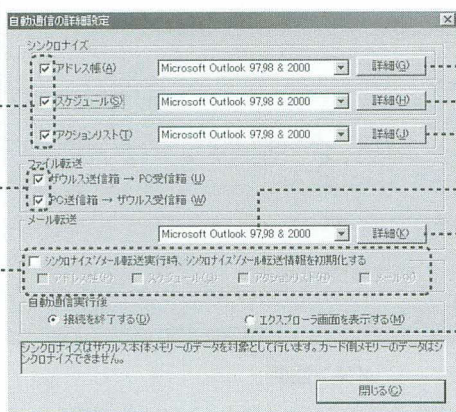
- インストール直後の状態でザウルスとパソコンを接続し、通信の開始操作をすると、最初の操作のときだけ、上のメイン画面が表示されます。このときは、[OK] ボタンではなく、[実行] ボタンが表示されます。2回目以降は、設定された内容に従って動作します。

2. 自動通信を行う機能にチェックマーク（✓）を付けます。
自動通信を行わない機能はチェックマーク（✓）を外してください。

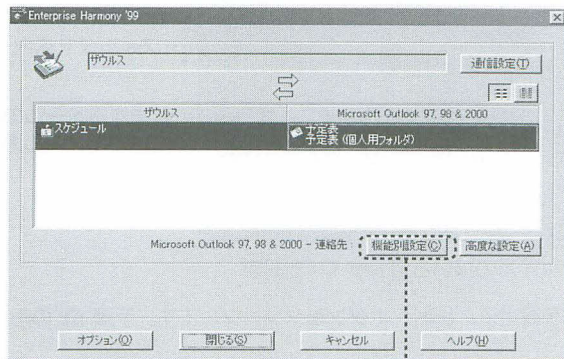
3. [自動通信の詳細設定] ボタンをクリックします。
必要な項目にチェックマーク（✓）を付け、ラジオボタンで選択します。

はじめに　接続準備と接続　インストールと設定　送受信のしかた　付録

● 新たに最初からシンクロナイズを始めるとき以外は、「シンクロナイズ/メール転送実行時、シンクロナイズ/メール転送情報を初期化する」のチェックボックスにチェックを入れないでください。チェックを入れると、引き続いてのシンクロナイズではなく、新たなシンクロナイズとなるため、パソコンのデータとザウルスのデータの両方がお互いに入り、データが重複することがあります。詳しくはヘルプの「5.8 シンクロナイズ情報の初期化」、「6.5 メール転送情報の初期化」を参照してください。

パソコン上のザウルス送信箱/受信箱、ザウルスのPC送信箱/受信箱を使って自動で送信させるとき

初期化する場合、初期化する項目と共に指定（ヘルプの「5.8 シンクロナイズ情報の初期化」、「6.5 メール転送情報の初期化」参照）

※1 メイン画面の「メール転送」にチェックを入れると選択できます。

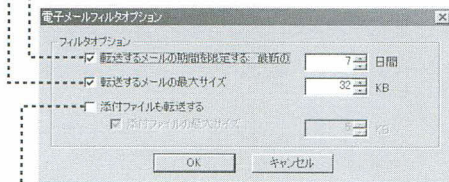
4 各項目の［詳細］ボタンをクリックすると、詳細な設定が行えます。
【例：シンクロナイズのスケジュールの場合】

シンクロナイズ：フォルダの選択
メール転送：転送するメールの期間などの設定（手順 5 参照）

必要に応じて［機能別設定］ボタンをクリックして設定します。
設定後、［閉じる］ボタンをクリックするとメイン画面に戻ります。
メイン画面で［OK］ボタンをクリックします。

5 パソコン側の転送するメールの期間、サイズそして添付ファイルの扱いを設定します。

- Outlook Express または Eudora 選択時

転送するメールの最大サイズを設定
転送する受信メールの期間を設定

電子メールフィルタオプション
フィルタオプション
転送するメールの期間を限定する：最新の 7 日間
転送するメールの最大サイズ 32 KB
添付ファイルも転送する
添付ファイルの最大サイズ 5 KB
OK
キャンセル

添付ファイルの扱いと最大サイズを設定

● Outlook 選択時

各項目を設定後、[OK] ボタンをクリックします。手順 4 の画面に戻ります。

- メール転送の際のパソコン側の対象メールは上記の画面で設定しますが、ザウルス側は、最初すべてのメールが対象となります。
  ただし、ザウルス側では一度パソコン側に転送されたメールは、メール転送情報の初期化が実行されるまで、次回のメール転送時の対象とはなりません。
- 「転送するメールの最大サイズ」の設定項目にご使用のザウルスで受信できないサイズを指定すると、メール転送時にエラーが発生します。

使用メールソフト側の設定

Eudoraとザウルス間でメール転送を行う人のみ操作してください。

メール転送時、対象のメールソフトをEudoraにする場合は、Eudora側で次の設定が必要です。

- Eudoraの「ツール」メニューから「オプション」を選択して表示されるダイアログボックスの「カテゴリ」から「MAPI」を選択し、「Eudora MAPIサーバの使用」を「無効」に設定します。
- 同様に「カテゴリ」から「メールの確認」を選択し、「パスワードの保存」にチェックを入れます。

Outlook Expressとザウルス間でメール転送を行う人のみ操作してください。

メール転送時、対象のメールソフトをOutlook Expressにする場合は、Outlook Express側で次の設定が必要です。

- Outlook Express 4の場合、「ツール」メニューから「オプション」を選択し、「全般」タブの「Outlook Expressを通常使う電子メールプログラムにする」にチェックを入れます。
  なお、「Outlook Expressを標準の簡易MAPIクライアントにする」のチェックマークは外さないでください。
- Outlook Express 5/5.5の場合、「ツール」メニューから「オプション」を選択し、「全般」タブの「通常のメッセージプログラム」(または「標準のメッセージプログラム」)欄の右端にある[標準とする(K)]ボタンが濃く表示されているときは、このボタンをクリックします。[標準とする(K)]ボタンが薄く表示されているときは、操作不要です。

Windows 2000 ProfessionalでOutlook 2000またはOutlook 98とザウルス間でメール転送を行う人のみ操作してください。

Windows 2000 Professionalでメール転送時、対象のメールソフトをOutlook 2000またはOutlook 98にする場合は、Outlook側で次の設定が必要です。

- Outlookのメールコンポーネントを「企業 / ワークグループ」に設定してください。
  設定のしかたは、ザウルスパワーコネクションのヘルプの「6.3 使用メールソフト側の設定」をご覧ください。

ザウルスパワーリンク for Microsoft Access 2000/97 のインストールと組み込み

パソコン上の Access とザウルスのデータベース機能との間でデータ転送を行う人のみ操作してください。

パーソナルデータベース、パーソナルデータベースⅡ、マイコンテンツ（MI-EX1）の機能または MORE ソフトが搭載されているザウルスが対象となります。（MI-E1 は、2000 年 12 月現在、パーソナルデータベース機能には対応していません。）

ザウルスパワーリンクのインストール

- Microsft Access がパソコンにインストールされている必要があります。
- パソコン連携ソフトのセットアップ画面（32 ページ手順 3 参照）からの操作を説明します。

1. ［ザウルスパワーリンク for Microsft Access 2000/97 をパソコンにインストール］ボタン右の［お読み下さい］ボタンをクリックします。
   - 表示される内容をお読みください。読み終わったらメモ帳を終了します。
2. ［ザウルスパワーリンク for Microsft Access 2000/97 をパソコンにインストール］ボタンをクリックします。
   - インストールが始まります。表示される内容に従って操作してください。
3. 開始確認画面で［はい］ボタンをクリックします。
   - インストールの終了画面が表示されたら、［完了］ボタンをクリックします。補足説明が表示されます。
   - CD-ROM をドライブから取り出します。付属の CD-ROM は大切に保管しておいてください。

ザウルスパワーリンクの組み込みかた

Accessとザウルス間でデータ送受信を行う人のみ操作してください。

ザウルスパワーリンク for Microsoft Access 2000/97のインストールに引き続き、以下の操作が必要です。

1. Accessを起動させて既存のデータベースを開きます。
2. 「ツール」メニューの「アドイン」をポイントし、「ザウルスパワーリンク for Microsoft(R) Access 2000/97」を選択します。
   ザウルスパワーリンクに組み込まれ、Accessウィンドウに「ザウルス通信」メニューが表示されます。これでインストール、組み込みは完了です。

- インストール後、Accessとザウルスとの間で通信を行うための設定を必ず行ってください。設定のしかたは、ヘルプの「3 通信設定のしかた」を参照ください。

- ザウルスパワーリンクのプログラムファイルは、Accessのアドインソフトとして、Microsoft Officeがインストールされているディレクトリの下のOfficeディレクトリにインストールされます。

インストールしたソフトウェアの削除のしかた

ザウルスパワーコネクションの削除

ザウルスパワーコネクションを正常にインストールできなかった場合（ザウルスパワーコネクションとザウルス送信箱、ザウルス受信箱、ホームページクリップユーティリティーのアイコンが表示されません）や、このソフトウェアが不要になったときには、次の操作によりプログラムを削除（アンインストール）します。

1. Windows の「コントロールパネル」の中の「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックし、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスを表示します。
   - Windows 2000 Professionalの場合は、Administrator権限を持つユーザー（通常、システム管理者と呼ばれます）がログオンして操作してください。
2. 「インストールと削除」タブをクリックし、「ザウルスパワーコネクション」を選択して、［追加と削除］ボタンをクリックします。
   - Windows 2000 Professionalの場合は、「プログラムの変更と削除」アイコンをクリックし、「ザウルスパワーコネクション」を選択して、［変更／削除］ボタンをクリックします。
   - 以降は、画面の指示に従って操作してください。削除後、自動的にコンピュータが再起動します。

- 削除処理中に処理を中断した場合は、正しく削除できません。既にインストールしてあるソフトウェアの状態も正常ではなくなります。削除処理中は中断しないでください。また、再インストールする場合は、必ず削除を正常に完了させてから、インストールしてください。
- 削除してもザウルスパワーコネクションフォルダの中にいくつかのファイルが残ります。不要な場合はこれらのファイルを削除してください。インストール時に変更していない場合、ザウルスパワーコネクションフォルダは、「Program Files」フォルダの中にあります。

ザウルスパワーリンクの削除

ザウルスパワーリンクを正常にインストールできなかった場合や、このソフトウェアが不要になったときには、次の操作によりプログラムを削除（アンインストール）します。

1. Access でデータベースファイルを開き、「ザウルス通信」メニューの「アンインストール」を選択します。
2. 確認ダイアログボックスで「OK」をクリックします。

送受信のしかた

ザウルスパワーコネクション

機能の概要

●シンクロナイズ

ザウルスとOutlook間で双方のデータの更新日時を調べ、新しい方のデータに更新します。これを「シンクロナイズ」と呼びます。

●パソコンとザウルス間のデータ送受信

- ザウルスに送信したいデータをあらかじめ「ザウルス送信箱」にドラッグアンドドロップしておくと、次にザウルスと接続した際、自動的にザウルスの「PC受信箱」に送信できます。
- WWWブラウザーやワープロ上のテキストを範囲指定してザウルス送信箱にドラッグアンドドロップするだけで、ファイルとして保存され、次回のザウルスとの接続時にザウルス側のPC受信箱（実データはインクワープロまたはレポート＆自由帳）に送信される「テキストスクラップ機能」もあります。
- ザウルス側でパソコンに送信したいデータをあらかじめ「PC送信箱」に収納しておくと、次にパソコンと接続した際、自動的にパソコンの「ザウルス受信箱」に受信できます。

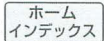
●メール転送

パソコンのメールソフト（OutlookまたはOutlook Express、Eudora）の送受信トレイ（またはフォルダ）のデータとザウルスの送信簿/受信簿間でメールの転送を行います。

●バックアップ／リストア

ザウルスのデータをパソコンにバックアップし、バックアップしたデータをザウルスに戻す（リストア）ことができます。

●ホームページクリップユーティリティー

パソコンのWWWブラウザーで表示されているインターネットのホームページの内容を、デスクトップ上の「ザウルス送信箱」（53ページを参照）に取り込むソフトウェアです。ザウルス送信箱に取り込まれたホームページの情報は、ザウルスパワーコネクションのデータ送受信機能を使ってザウルスに転送し、ザウルスのインターネットライブラリで表示させることができます。

- 通信中は消費電力が大きくなりますので、ザウルスに合わせて新しい乾電池に交換したり、ACアダプターを接続することをお勧めします。

ザウルスの操作のしかた

ザウルスパワーコネクションを使ってパソコンとザウルス間で通信を行うとき、ザウルス側ではPCリンク機能の中の「Powerリンク」という通信方式を使用します。以下、ザウルス側で通信の実行開始を行う方法を説明します。

MI-E1、MI-C1、MI-P10を使用する場合

PCリンク画面の表示

- **MI-E1**：[ホーム インデックス] キーを何度か押して「データ通信」画面を表示させ、[PCリンク] アイコンにタッチします。
- **MI-C1**：[ツール] キー、「PCリンク」アイコンの順にタッチします。
- **MI-P10**：(ホーム インデックス) キーにタッチして画面左上の「ホームインインデックス-1 ▼」などにタッチします。表示されたメニューから「ツールインデックス」を選択し、「PCリンク」アイコンにタッチします。

PCリンク画面での設定

❶ [簡単設定] アイコンにタッチします。

❷「ザウルスパワーコネクションVer.3.0以上」の左の丸いアイコンにタッチし、[次へ] ボタンにタッチします。

❸「クレードル／ケーブル接続」または「光通信」の左の丸いアイコンにタッチし、[次へ] ボタンにタッチします。

❹ 内容を確認し、[設定] ボタンにタッチします。PCリンク画面に戻り、設定した内容が表示されます。

・USB接続ケーブル、クレードル、パソコン接続ケーブルを使用する場合

現在の設定：ザウルスパワーコネクション Ver.3.0以上
接続方法：クレードル / ケーブル接続（Powerリンク）

・光通信を使用する場合

現在の設定：ザウルスパワーコネクション Ver.3.0以上
接続方法：光通信（Powerリンク）
転送方式：IrDA方式

PC リンクの実行開始操作

- **MI-E1**：[PC リンクスタート] キーを約 2 秒以上押します。
  またはインデックス画面の「PC リンク」アイコンにタッチして PC リンク画面を表示し、[すぐに接続] にタッチします。

- **MI-C1、MI-P10**：クレードル（CE-ST3 または CE-ST4）を使用の場合は、クレードルのスタートボタンを押します。
  またはインデックス画面の「PC リンク」アイコンにタッチし、PC リンク画面で [すぐに接続] にタッチします。

MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-310の場合

MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-310以下のザウルスの場合は、事前に「Powerリンク」MOREソフトの読み込み（25ページ参照）が必要です。

Powerリンク画面の表示

- **MI-P1/MI-P2シリーズ**、**MI-J1**：オリジナル画面で「Powerリンク」アイコンにタッチします。
- **MI-EX1**：[オリジナル]、[MORE] タブ、「Powerリンク」アイコンの順にタッチします。
- **MI-310**：[MORE] キー、「Powerリンク」アイコンの順にタッチします。

Powerリンク画面での設定

❶「接続方法」の右の「クレードル/ケーブル」または「光通信」をタッチして表示されるメニューから接続方法を選択します。

・USB接続ケーブル、クレードル、パソコン接続ケーブルを使用する場合
クレードル/ケーブル

・光通信を使用する場合
光通信

Powerリンクの実行開始操作

- **MI-P1/P2シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-310**：「Powerリンク」MOREソフトを起動し、[実行] にタッチします。

シンクロナイズを行う

シンクロナイズとは

パソコンのOutlook上のデータとザウルス上のデータを自動的にチェックして、最新のものに更新します。
シンクロナイズをするたびに、前回のシンクロナイズ後に追加・修正・削除されたデータを自動的に更新しますので、効率的にザウルスとOutlookのデータの共有が実現できます。
シンクロナイズは、次の機能のデータについて行うことができます。

ザウルス側の機能		Outlook側の機能
通常スケジュール 期間スケジュール	←→	予定表
アクションリスト	←→	仕事
アドレス帳	←→	連絡先

シンクロナイズの流れの例

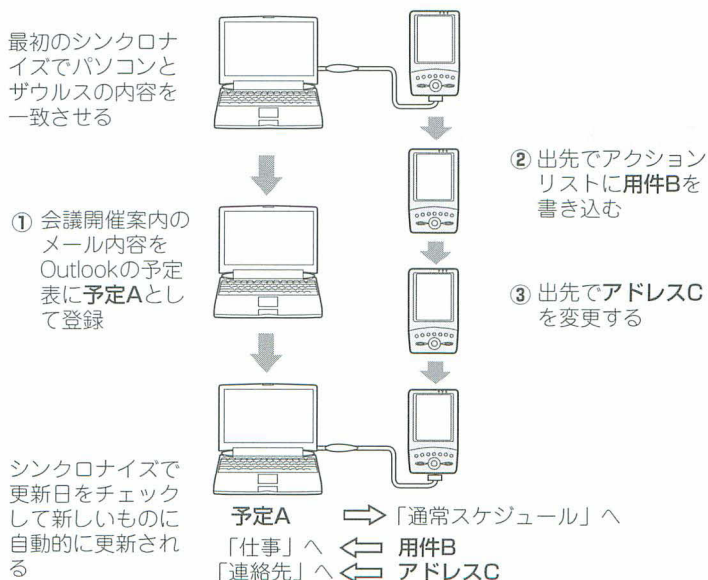
最初のシンクロナイズでパソコンとザウルスの内容を一致させる

① 会議開催案内のメール内容をOutlookの予定表に**予定A**として登録

② 出先でアクションリストに**用件B**を書き込む

③ 出先で**アドレスC**を変更する

シンクロナイズで更新日をチェックして新しいものに自動的に更新される

予定A ⇒「通常スケジュール」へ
「仕事」へ ⇐ **用件B**
「連絡先」へ ⇐ **アドレスC**

- シンクロナイズはザウルスの本体メモリー上のデータが対象となります。カードメモリー上のデータはシンクロナイズできません。
- 記念日はシンクロナイズできません。

- PowerPIMMなどのシンクロナイズ機能のあるパソコンソフトとシンクロナイズを行ったザウルスを使って、Outlookとのシンクロナイズはできません。シンクロナイズを行うには、「シンクロナイズ情報の初期化」を行う必要があります（ヘルプの「5.8 シンクロナイズ情報の初期化」参照）。

シンクロナイズの実行

1. 「自動通信を行う項目を設定するには」でシンクロナイズする項目を設定します。（36ページ参照）
2. ザウルスとコンピュータを接続します。（24ページ参照）
3. ザウルス側でPCリンク（Powerリンク）の実行開始操作（44～46ページの「ザウルスの操作」参照）を行います。
   - 設定した内容に従って、自動的にシンクロナイズを開始します。

制限事項・注意点

このソフトウェアの使用上、以下のような制限事項および注意点があります。（ヘルプの「1.5 制限事項について」および「2 ご注意いただきたいこと」も併せてご覧ください。）

制限事項

- Outlook側で作成した繰り返しデータ（定期的なアイテム）はシンクロナイズの対象になりません。
- ザウルス特有の文字（絵記号など）はパソコンでは正しく表示されません。
- ザウルスのアドレス帳とOutlookの連絡先とのシンクロナイズでは、アドレス帳の顔写真を含めて転送するように設定することができます。ただし、変換により、顔写真の画質が劣化します。（使いかたについて詳しくは、ヘルプの「5.7 オプション設定」をご覧ください。）
- MI-J1では「アクションリスト」機能がないため、Outlookの「仕事」とのシンクロナイズはできません。

注意点

- **通信中にUSB接続ケーブルやパソコン接続ケーブルをザウルスやパソコンから抜いたりすることは絶対にしないでください。取り外しは、ザウルスパワーコネクションの接続待機状態をオフするなど、通信状態を解除または完全に終了させてから行ってください。**もし、誤って通信中にケーブルを抜いて通信を中断すると、以降、ザウルスとパソコンのとの間で通信ができなくなることがあります。その場合はパソコンを再起動してください。
- シンクロナイズを行った後は、ザウルスのメモリー整理を行うことをお勧めします。
- クレードル/ケーブル通信の場合、ノートパソコンなど省電力機能のあるパソコンでシリアルポートへの電源供給が止まっている場合や、スクリーンセーバーなどが起動した場合、通信エラーとなる場合があります。
- クレードル/ケーブル通信で通信エラーが発生する場合、通信速度を順次下げてお試しください。
- シンクロナイズ時、ザウルスとOutlook側の各項目の関係については、ヘルプの「5.9 通信するデータの項目」を参照ください。また、項目の関係を変更することはできません。
- シンクロナイズ時、Outlook側またはザウルス側に作成できるデータの制限により、内容に変更が加えられるデータ（またはシンクロナイズできないデータ）があると、「エラーと警告」ダイアログボックスが表示される場合があります。（例：開始日のない仕事データをOutlookで作成した場合）
  その場合は、警告（またはエラー）の内容を確認後、[先へ進む] ボタンをクリックすれば、そのデータに自動的に変更を加えて（またはそのデータを除いて）シンクロナイズを継続できます。
- PowerPIMMなど通信ポートを占有するソフトウェアを動作させた状態では使用できません。通信ポートを占有する他のソフトウェアを終了させてからお使いください。
- シンクロナイズは、ザウルスとOutlookとの間で1対1で行います。複数のザウルスとシンクロナイズ行うと、お互いのデータを正しく同じにすることができません。

- ザウルスパワーコネクションのシンクロナイズ機能を利用する場合、ザウルスパワーリンク for Microsoft Outlook97/98 がインストールされていたときには、あらかじめアンインストールしておいてください。ザウルスパワーリンク for MicrosoftOutlook97/98 のアンインストールのしかたは、そのソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

データの送受信

送信／受信できるデータの形式

ザウルスパワーコネクションを使ってパソコンとザウルス間で通信を行うときに、送信や受信できるファイル形式は次のようになっています。

- お使いのザウルスにない機能や対応するMOREソフトが読み込まれていない機能のデータは送受信できません。また、ファイルのサイズや種類によっては、ザウルスで受信できても、開くことができない場合があります。各機能は、1件単位でパソコンへ送れます。

機　能	パソコンへ受信	ザウルスへ送信
Internetライブラリ(※1)	―――	HTML形式で保存されているPowerPoint 2000/97/95のフォルダを送信します。 **(ザウルス送信箱から「Internetライブラリ」へ送信可)**
MOREソフト(※2)	―――	ザウルス用MOREソフト(ZAC形式、DAT形式)を送信します。 **(ザウルス送信箱から「MOREソフト」へ送信可)**
表計算	表計算のデータをMicrosoft Excel 5.0/95のブック形式のファイルでパソコンへ保存します。 **(PC送信箱からザウルス受信箱へ受信可)**(※3)	Excel 2000/97/95形式のファイルをザウルスで認識できるExcelのブック形式に変換してザウルスへ送信します。 **(ザウルス送信箱から「表計算」へ送信可)**
インクワープロ(※4)	インクワープロのテキスト文章のみをテキストファイルとしてパソコンへ保存します。 インク文字は、パソコンへ受信されません。	パソコン上のテキストファイルを送信します。 **(ザウルス送信箱から「インクワープロ」へ送信可)**
スライドショー	―――	PowerPoint 2000/97/95で作成したデータをJPEG形式に変換してフォトメモリーに送信します。 **(ザウルス送信箱から「フォトメモリー」へ送信可)**
パソコンデータ	AU、CSV(※5)などの各形式のパソコン用ファイルを保存します。	AU、CSV、ASF(※6)などの各形式のパソコン用ファイルを送信します。 **(ザウルス送信箱から「パソコンデータ」へ送信可)**

機　能	パソコンへ受信	ザウルスへ送信
フォトメモリー(※7)	JPEG、GIF形式のファイルでパソコンへ保存します。 **(PC送信箱からザウルス受信箱へ受信可)**(※3)	JPEG、GIF形式のファイルを送信します。 **(ザウルス送信箱から「フォトメモリー」へ送信可)**
ボイスレコーダー(※8)	WAVE形式のファイルでパソコンへ保存します。 **(PC送信箱からザウルス受信箱へ受信可)**(※3)	WAVE形式のファイルを送信します。 **(ザウルス送信箱から「ボイスレコーダー」へ送信可)**
レポート(※9)	テキストファイルとしてパソコンへ保存します。	パソコン上のテキストファイルを送信します。 **(ザウルス送信箱からレポート&自由帳へ送信可)**
ワープロ(※10)	ワープロ機能のデータをRTF形式でパソコンへ保存します。 **(PC送信箱からザウルス受信箱へ受信可)**(※3)	Word 2000/98/97/95形式のファイルやRTF形式のファイルをザウルスで認識できるRTF形式に変換してザウルスへ送信します。 **(ザウルス送信箱から「ワープロ」へ送信可)**

※1 PowerPoint95の場合は、マイクロソフト社のホームページなどで提供されているInternet Assistant for Microsoft PowerPoint95をPowerPoint95にインストールしておく必要があります。

※2 ザウルスで受信したデータは、PC受信箱に登録されません。

※3 PC送信箱が設けられているザウルスは、MI-E1、MI-C1、MI-P10です。

※4 ザウルスにテキストデータを送信する場合、ザウルス側に「レポート&自由帳」または「インクワープロ」の機能(あるいはMOREソフト)が必要です。

※5 CSV形式とは、ザウルスの「パーソナルデータベース(Ⅱ)」に対応したデータ構造のCSV形式。表計算ソフトで使用される一般のCSV形式とは異なります。

※6 MI-E1にのみASF形式(MPEG-4)の送受信が可能。

※7 MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-310では「手書メモ/フォトメモリー」と呼び、MI-J1では「手書メモ」と呼びます。

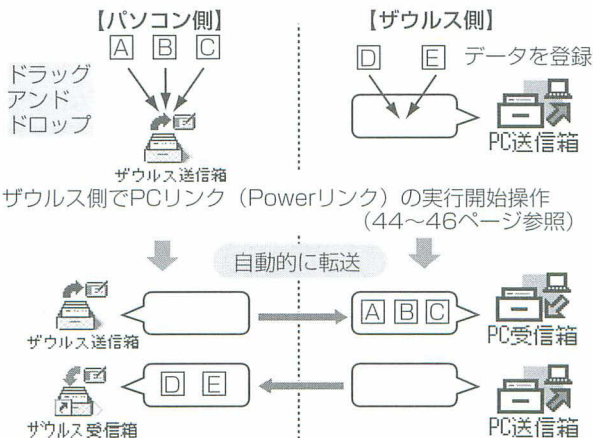
※8 ザウルスからパソコンへ受信できる音声データは、1分単位です。たとえば、2分30秒のボイスレコーダーの録音データは、パソコンへは3つのファイルに分けて受信されます。逆にパソコンからボイスレコーダー機能搭載のザウルスへ音声データを送信するときは、1分未満(WAVE形式で約300KB)のデータにしてください。

※9 MI-J1では「備忘録」と呼びます。

※10 Word2000/98/97/95形式の文書ファイルやWord2000/98/97/95、一太郎8で作成したRTFファイルをザウルスに送信する場合、ザウルス側でサポートしていない属性情報（行間、文字間隔、タブ、フォントの種類、罫線など）や画像情報などはザウルス側で表示または処理されません。また、ザウルスのワープロデータをパソコンに送信して、Word2000/98/97/95や一太郎8で読み込んだ場合、レイアウトが崩れることがあります。

ザウルス送信箱／ザウルス受信箱を使う

機能の概要

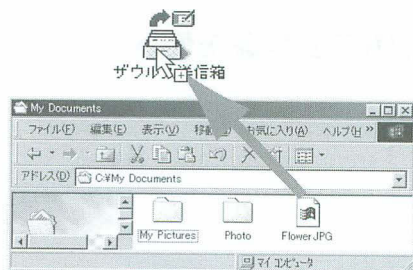
パソコン側とザウルス側の送受信箱に転送したいデータを保存しておきます。この状態でパソコンとザウルスを接続すると、自動的にデータの送受信が行えます。また、ホームページクリップユーティリティー（68ページ参照）でクリップしたホームページ情報をザウルスに送信する際にもザウルス送信箱が利用されます。

- ザウルスへ送信された実際のデータは、各データに対応するザウルスの各機能の保存先に送られます。また、各データは、情報ファイルの「PC受信箱」に登録されます（MOREソフトとパソコンデータは除く）。

- 「PC送信箱」、「PC受信箱」は、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-310では使用できません。

データを送受信する

自動通信の設定を行っておくと、ザウルス側でPCリンク（Powerリンク）の実行開始操作（44～46ページ参照）で自動的に各箱内のデータの送受信が行われます。（35ページ「自動通信を行う項目を設定するには」参照）

1. パソコン側でザウルスに送信したい各種ファイルをザウルス送信箱アイコンへドラッグアンドドロップします。

   【例】パソコンの画像ファイルをザウルスへ送る場合

   - ザウルスへ送信できない種類のパソコン上のファイルをザウルス送信箱にドラッグすると、マウスカーソルが ⃠ で表示されます。
   - 選択した複数のファイルの中に、ザウルスへ送信できないファイルが含まれていると、ドラッグアンドドロップすることはできません。

2. ザウルス側でパソコンに受信したい各種ファイルをPC送信箱へ登録します。（PC送信箱のあるザウルスのみ）

   【例】ザウルスのフォトメモリーのデータをパソコンに受信する場合

   ① 送信するフォトメモリーのデータを表示します。

   ② ［フォトメモリー▼］にタッチして表示されるメニューから「PC送信箱に入れる」にタッチします。

3. ザウルス側でPCリンク（Powerリンク）の実行開始操作（44～46ページ参照）を行います。

   - シンクロナイズする設定にしてあるときは、先にシンクロナイズが実行され、続いて送受信箱の転送が実行されます。

4. 送受信終了後の確認画面で［OK］ボタンをクリックします。

   ザウルス側で通信が終了しないときは、「ザウルス通信」メニューの「接続終了」を選択します。

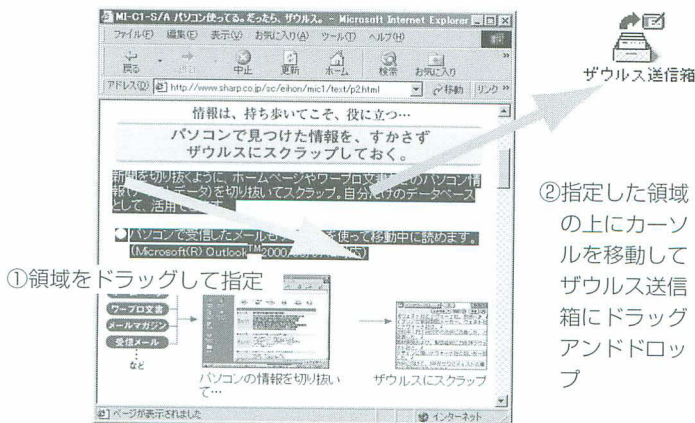
5 ザウルス受信箱をダブルクリックすると、ザウルスから受信したファイルが表示されます。
この例では、フォトメモリーのデータが表示されます。必要に応じて他のフォルダへ移動します。

6 ザウルス側での確認は、受信したデータの種類に応じた機能で開くことで行います（51～52ページの表の「ザウルスへ送信」欄参照）。
PC受信箱のあるザウルスでは、情報ファイルの「PC受信箱」を開いて確認することもできます。

- MI-E1をご使用の場合、ザウルスパワーコネクションのメイン画面で「ザウルス通信」メニューからデータ送受信の対象として「カードメモリー」を選択したときは、MI-E1の「ユーザー設定」の「カード設定」で選択されている側のメモリーカードとデータ送受信が行われます。

パソコン画面に表示のテキストデータをザウルスに送信する機能（テキストスクラップ機能）を使う

ザウルス送信箱を利用すると、ワープロやブラウザーなどのソフトウェア上のテキストデータを簡単な操作でザウルスに転送できます。
ここでは、WWW ブラウザーで表示のテキストデータを転送する場合を例に操作を説明します。

1. WWWブラウザーで転送したいテキストデータのあるページを表示します。
2. 転送したいテキストデータを指定してザウルス送信箱にドラッグアンドドロップします。
   ① テキスト領域をドラッグして指定します。指定範囲のテキストが反転表示になります。
   ② 指定した範囲をザウルス送信箱にドラッグアンドドロップします。
   ザウルス送信箱上にドラッグすると、カーソルアイコンに「+」が追加されたり、形状が変化します（使用するアプリケーションソフトによって変わります）。この状態のとき、マウスボタンを離してドロップすると、テキストデータがファイルとして保管されます。

次回、ザウルスと接続すると、ザウルスのPC受信箱に送信されます（実データはインクワープロまたはレポート&自由帳に入ります）。

- ファイル転送（36ページ参照）で「ザウルス送信箱→PC受信箱」にチェックマーク（✓）を付けてある場合、ザウルス側でPCリンク（Powerリンク）の実行開始操作（44～46ページ参照）を行うと、自動的にザウルスのPC受信箱に転送されます。

- テキストデータの中にタブコードなど文字以外のコードが含まれる場合、スペースに置き換えられて送信されます。
- ドラッグアンドドロップでテキストをザウルス送信箱に保存できないときは、次のように操作してください。
  ① アプリケーションソフト上で送りたいテキストを選択し、「編集」メニューから「コピー」を選択します。
  ② ザウルス送信箱アイコンを右クリックします。メニューが表示されます。
  ③ メニューの「貼り付け」を選択します。これでザウルス送信箱にテキストファイルが貼り付けられます。

制限事項・注意点

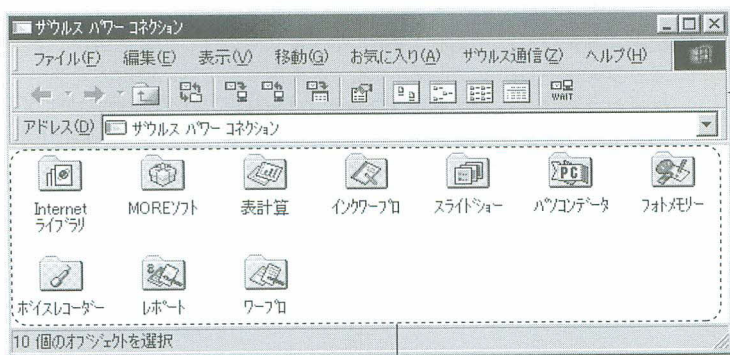
- ザウルス送信箱、ザウルス受信箱を使えば、フォトメモリー（GIF、JPEG 形式の画像データ）などのデータを送受信できます（詳しくは51 ～ 52 ページをご覧ください）。ただし、メールメッセージの転送については、ザウルス送信箱・ザウルス受信箱を使ってザウルスとデータのやり取りはできません。これについては、ザウルスパワーコネクションのメイン画面で「メール転送」にチェックマークをつけることにより実行できます（35 ページ参照）。
- テキストスクラップ機能（選択したテキストをザウルス送信箱にドラッグアンドドロップで保存する）を使用するには、使用のアプリケーションソフト（ワープロやブラウザーなど）が Windows の OLE のドラッグアンドドロップに対応している必要があります。ただし、OLE のドラッグアンドドロップ機能に対応しているアプリケーションソフトを使っていても、パソコンの条件により、ドラッグアンドドロップによるテキストスクラップ機能が使えない場合があります。

ザウルスパワーコネクションのエクスプローラを使う

設定と起動のしかた

1. パソコンとザウルスを接続し、Windowsを起動して通信できる状態にします。

2. パソコンのデスクトップ上の ザウルス パワー コネクション のアイコンをダブルクリックします。
   - ザウルスパワーコネクションが起動し、メイン画面が表示されます。
   - 自動通信設定（36ページ参照）でエクスプローラ画面を表示するように設定されているときは、この時点で 3 のザウルスパワーコネクションのエクスプローラ画面が表示されます。

3. メイン画面の「ザウルス通信」メニューから「エクスプローラ画面を表示する」を選択します。
   次のようなザウルスパワーコネクションのエクスプローラ画面が表示されます。

- 表示される機能フォルダの種類は、接続するザウルスの機能に合わせて設定します。設定のしかたは、ヘルプの「3.4.3 表示アイコン」を参照してください。
- <u>お使いのザウルスにない機能のデータは送受信できません。</u>

- 手順 3 で「エクスプローラ画面を表示する」を選択しておくと、以降接続の度にエクスプローラ画面が表示されます。
- ザウルスパワーコネクションが起動し、ザウルスと通信状態になると、前述のアイコンは、次のように変化します。

ただし、クレードルを使った通信の場合、通信が終了してもこのアイコンが元に戻らないことがあります。これは一部の機能が動作を続けているためです。アイコンが元に戻らなくても、通信機能は正常に機能します。

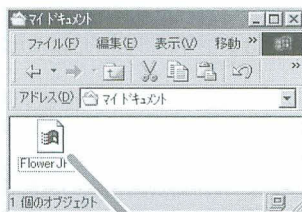
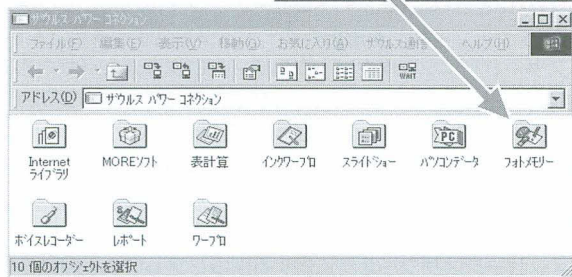
- Windows やエクスプローラのバージョンによって画面デザインやボタンの名前が変わる場合がありますが、操作はほぼ同じです。本書に記載の画面例は、Windows 98 の場合です。ツールバーのボタンがすべて表示されないときは、「表示」メニューの「ツールバー」サブメニューから「ボタンの文字列」を選択してチェックを外すと表示されます。なお、「スタート」ボタンをクリックして「プログラム」、「ザウルスパワーコネクション」をポイントし、「ザウルスパワーコネクション お読みください」をクリックして補足説明をお読みください。
- PowerPIMM など通信を行うソフトウェアを使用したあとで、ザウルスパワーコネクションを使用すると、「ザウルスと通信する別のソフトが動作中です。」のメッセージが表示される場合があります。
このメッセージはザウルスと通信する別のソフトウェアの動作を終了、またはザウルスパワーリンクの自動通信状態が解除されていても確認のため表示されます。再度、ザウルスと通信する別のソフトウェアで通信の終了を確認した上で、[OK]ボタンをクリックしてください。

終了のしかた

1 「ファイル」メニューをクリックして、「閉じる」を選択すると、エクスプローラ画面が閉じます。

転送のしかた

【例】 JPEG形式の画像データがパソコン上のマイドキュメントフォルダに入っており、それをドラッグアンドドロップでザウルスのフォトメモリーに転送する場合です。

1 ハードディスク内のマイドキュメントフォルダを開き、マイドキュメントフォルダ内の画像ファイルをエクスプローラ画面内の「フォトメモリー」フォルダにドラッグアンドドロップします。

2 メッセージ画面が表示されますので、ザウルス側でPCリンク（Power リンク）の実行開始操作（44～46ページ参照）を行うとデータが転送されます。

3 転送終了の確認画面で［OK］ボタンをクリックします。このあと続いて、別のデータをドラッグアンドドロップで転送することができます。

制限事項・注意点

このソフトウェアの使用上、以下のような制限事項および注意点があります。(ヘルプの「1.5 制限事項について」および「2 ご注意いただきたいこと」も併せてご覧ください。)

- **通信中にUSB接続ケーブルやパソコン接続ケーブルをザウルスやパソコンから抜いたりすることは絶対にしないでください。取り外しは、必ず通信が終了してから行ってください。**もし、誤って通信中にケーブルを抜いて通信を中断すると、以降、ザウルスとパソコンのとの間で通信ができなくなることがあります。その場合はパソコンを再起動してください。

●パソコンへ受信する場合

- ザウルス上の同じタイトル名のデータは、パソコン上の同じフォルダには受信できません。違うフォルダに別々に受信するか、タイトル名を変えて受信してください。
- フォトメモリーのデータをパソコンへ受信した場合は、画像のみを受信します。「読み」、「日時」、「場所」など文字入力した項目は受信されません。
- ザウルスのフォトメモリーの画像データがない、文字情報のみのデータはパソコンへ受信できません(フォトメモリーフォルダ内に表示されません)。
- ザウルスのデータのタイトル名に、パソコン側でファイル名として使用できない文字(半角の¥ / : , ; * ? " < > | 等)が含まれている場合、パソコンへ受信する前にあらかじめザウルス側でこれらの文字を取り除いておいてください。もし、これらの文字がタイトル名に含まれたままパソコンへ受信すると、ファイル名が正しく表示されなかったりパソコンへ受信できないことがあります。

  (例) 半角の「¥」を含むタイトル名
  →機能フォルダを開いても表示されません。

  (例) パソコンに文字コードが存在しない場合(絵記号など)
  →不正なファイル名になり、受信できません。

  (例) パソコン側に文字コードがあっても別の文字が割り当てられている場合
  →ファイル名は別の文字が表示されますが受信できます。(例:丸で囲まれた数字記号など)

- ザウルス特有の文字（絵記号、半濁点・濁点を含んだ半角カタカナ、および半角ひらがななど）はパソコンでは正しく表示されません。

●ザウルスへ送信する場合

- 拡張子を除くファイル名に半角のピリオド(.)が含まれているファイルをザウルスへ送信すると、ザウルス側ではタイトル名が正しく登録されません。あらかじめピリオドを取り除いたファイル名に変更してから、ザウルスへ送信してください。（たとえば、「PHOTO2.1.JPG」というファイル名の画像ファイルをフォトメモリーへ送信する場合など。）
- パソコンのPNG形式の画像ファイルをザウルスの「パソコンデータ」へ送信する場合は、ファイル名を8文字以下、拡張子3文字以下の半角英数字(例：FLOWER.PNGなど)にしてから、ザウルスへ送信するようにしてください。半角英数以外の文字が使用されていると、ザウルスに送信できない場合があります。

●送受信時

- パソコンからザウルスへデータ送信を行った後は、ザウルスのメモリー整理を行うことをお勧めします。メモリー整理については、ザウルスの取扱説明書を参照してください。
- ノートパソコンなど省電力機能のあるパソコンでシリアルポートへの電源供給が止まっている場合や、スクリーンセーバーなどが起動した場合、通信エラーとなることがあります。通信を行うには、あらかじめ省電力機能やスクリーンセーバーなどの機能を解除してから行ってください。
- クレードル／ケーブル接続で通信エラーが発生する場合、通信速度を順次下げてお試しください。
- ザウルスパワーコネクションを使う場合、PowerPIMMなどの通信ポートを占有するソフトウェアを動作させた状態では使用できません。通信ポートを占有する他のソフトウェアを終了させてからお使いください。
- ザウルスパワーコネクションが「接続待機状態にする」に設定されていると、PowerPIMMなど通信ポートを使用する他のソフトウェアが使用できません。
  ザウルスパワーコネクションの接続待機状態の解除の方法については、ザウルスパワーコネクションのヘルプを参照してください。

● PowerPointのデータをザウルスの「スライドショー」へ送信するには、PowerPointのインストール時に、PowerPointのデータをJPEGに変換する機能が組み込まれている必要があります。(“標準セットアップ”でインストールした場合には、この機能は自動的に組み込まれます。)送信できない場合は、PowerPointのセットアップで、グラフィックフィルタのJPEG(JPEG File Interchange Format)用フィルタのコンポーネントを追加してください。

メールを転送する

機能の概要

ザウルス側でPCリンク（Powerリンク）の実行開始操作（44～46ページ参照）を行だけで、パソコン上のメールソフト（Outlook、Outlook Express、Eudora）とザウルスのメール送信簿・受信簿との間でメールの転送ができます。

ザウルス側の機能			パソコン側の機能（メールソフト） Outlook	Outlook Express	Eudora
受信簿	受信メール	←→	受信トレイ	受信トレイ	ー
		←	ー	ー	受信フォルダ
送信簿	未送信メール	→	送信トレイ	送信トレイ	送信フォルダ
	送信済みメール	→	送信トレイ (送信済みアイテム)	ー	ー

メール転送の対象メール（転送範囲）

メール転送の対象となるパソコン側のメールの範囲は、37ページの手順 5 で説明の画面で設定します。ザウルス側は、最初のメール転送ではすべてのメールが対象となります。ただし、ザウルス側では一度パソコン側に転送されたメールは、メール転送情報の初期化（36ページ参照）が実行されるまで、次回メール転送時の対象とはなりません。ザウルス側では、新しく受信したメール、新規に作成した未送信メールが対象となります(Outlook使用時には、新規に送信済みとなったメールも対象となります)。

- メール転送は、ザウルスの本体メモリー上の受信簿、送信簿が対象となります。カードメモリー上のメールはメール転送できません。

パソコンでメールの一元管理をするときは

ザウルスの受信簿で受信メールを削除後、転送を行ってもパソコンのメールソフトの受信トレイ（またはフォルダ）内のメールが削除されることはありません。これにより、パソコンでのメールの一元管理が可能となります。
パソコンとザウルスの両方で送受信したメールの管理をパソコンで一元管理するには、次のことにご注意ください。

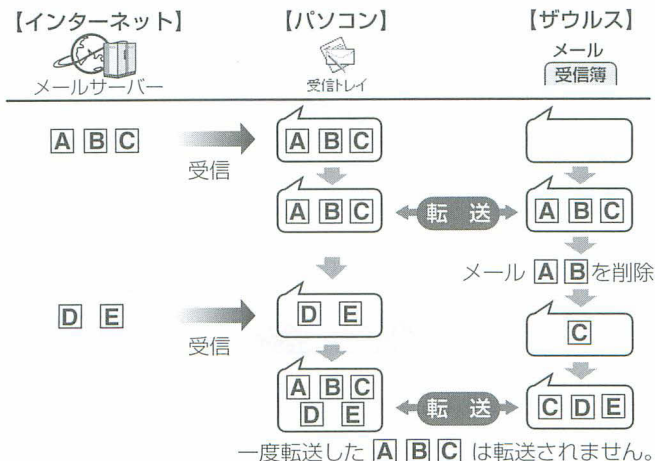
- ザウルスで作成したメールをパソコンへ転送する場合に、転送後すぐに発信しないように設定できるメールソフトがあります。未完成のメールをパソコンに転送することがある場合は、メールソフト側で"すぐに発信しない"設定にしてください。

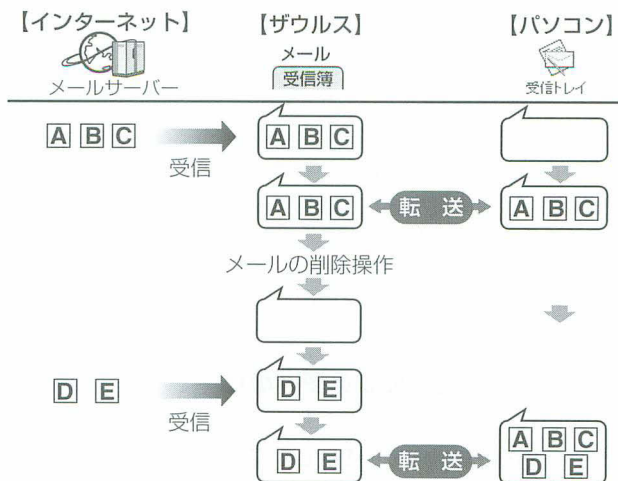
- パソコンで送信したメールは、ザウルスへ転送できません。ザウルス側でも同じメールを保存したいときには、パソコンからメールを送るとき、CC で自分のメールアドレスにも送り、ザウルスで受信するようにしてください。
- Outlook ExpressまたはEudoraをご使用の場合、ザウルスで送信したメールはパソコン側に送ることができません。パソコン側でも同じメールを保存したいときには、ザウルスからメールを送るとき、CCで自分のメールアドレスにも送り、パソコンで受信するようにしてください。
- Eudora をご使用の場合、ザウルスで受信したメールはパソコンへ転送できませんので、受信メールをサーバーから消す設定にはしないことをお勧めします。

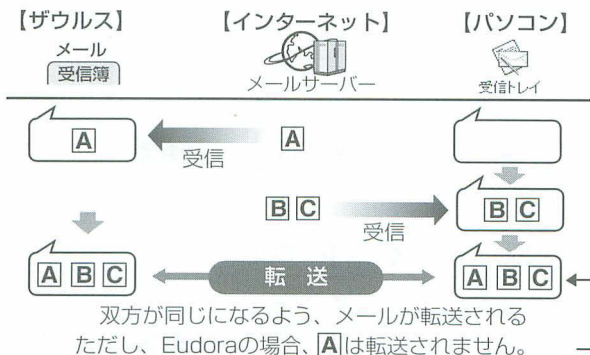
受信メールの転送方法の種類と使いかた

受信したメールは、使用目的に合わせて以下の使いかたができます。

●パソコンのみでメールを受信して転送する場合

パソコンのみで受信したメールをザウルスに取り出し、外出先で活用するときに便利です。

●ザウルスのみでメールを受信して転送する場合

ザウルスのみで受信したメールをパソコンで一括して保存管理するときに便利です。ただし、Eudora ではこの機能は使えません。

●ザウルスとパソコンの両方でメールを受信して転送する場合

ザウルス、パソコンそれぞれで受信したメールを双方で保管するときに便利です。

- ザウルスとパソコンの両方でメールを受信する場合は、受信の際、受信したメールはメールサーバーから削除するように設定することができます。受信したメールを残す設定にしておくと、メール転送後は、パソコン側、ザウルス側共同じメールが重複して保存されます（Eudora使用時を除く）。ただし、受信したメールをメールサーバーから削除する設定にしておくと、パソコン側でしか読めないデータがメールに添付されていた場合、そのメールをザウルスで受信すると不都合が生じる場合がありますのでご注意ください。

メールの転送のしかた

1 「自動通信を行う項目を設定するには」の手順 5 で転送する項目を設定します（37 ページ参照）。
使用のメールソフトによって設定の確認が必要です。39 ページに従って設定してください。

2 ザウルスとパソコンを接続します。（24 ページ参照）

3 ザウルス側で PC リンク（Power リンク）の実行開始操作（44 ～ 46 ページの「ザウルスの操作」参照）を行います。
設定した内容に従って、自動的にメールの転送が開始されます。
- 自動的にメール転送が開始されないときは、先にメールソフトを起動しておいてからメール転送を実行してみてください。

制限事項・注意点

- パソコンで送信したメールや未送信メールは、ザウルスへ転送できません。
- ザウルスで扱えない形式の添付ファイル付きメールをザウルスで受信すると、パソコンとのメール転送後、添付ファイルが読めなくなることがあります。
- ザウルスの受信メールの設定を超えるサイズのメールや添付ファイルを転送する場合には、メール転送ができません。（ザウルスのメール設定のしかたや制限については、ザウルスの取扱説明書をご覧ください。）
- メールソフトのバージョンによっては、メールの読み出し時にエラーとなる場合があります。そのときは、エラーの対象となるメールを削除してください。
- 一度メール転送を実行した後、ザウルス側で転送済みのメールを修正／削除したり、未読／既読切り替えや未送信／送信済み切り替えを行った場合、次にメール転送を行っても、それらの処理をしたメールはパソコンには転送されません。
- 初めてメール転送を実行した場合、および自動通信の詳細設定画面（36 ページ）で「シンクロナイズ／メール転送実行時、シンクロナイズ／メール転送情報を初期化する」と「メール」にチェックマークを付けた場合には、「シンクロナイズ情報初期化」の画面が表示されます。ただし、この画面は、パソコンに受信メールが 1 件もなかったり、ザウルスに未送信メールがなかった場合には表示されません）。
この画面にはメールの件数が表示されますが、この件数はメール転送機能で扱うことのできるメールの件数であり、すべてのメールの合計件数ではありません。また、初期化時にはメールが重複する場合があります。

ホームページクリップユーティリティーを使う

機能の概要

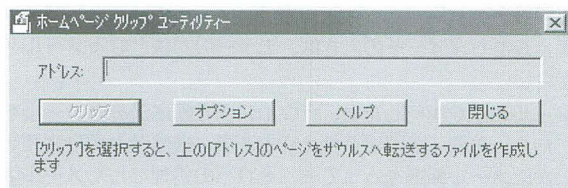
パソコン上のWWWブラウザーで表示しているインターネットのホームページ情報を取り込み（クリップ）、ザウルス送信箱使ってザウルスへ転送します。転送したデータは、ザウルスのインターネットライブラリで閲覧できます。パソコンで見つけたホームページの情報をザウルスで外に持ち出して活用するのに便利です。

- WWWブラウザーは、Internet Explorer 4.0/5/5.5および Netscape Communicator 4.0/4.5/4.6/4.7に対応してます。

- 本ソフトウェアを使用して取り込んだホームページの内容は、著作権の侵害にならないよう、お客様の責任でご使用ください。

起動と終了

起動のしかた

デスクトップに表示される ホームページクリップユーティリティー アイコンをダブルクリックすると起動し、次のウィンドウが表示されます。

- ［オプション］ボタンをクリックして表示されるオプション設定ダイアログボックスで、「ブラウザーの起動と同時に本ユーティリティも起動する」にチェックを付けておくと、ブラウザーを起動すると自動的にホームページクリップユーティリティーも起動させることができます。オプション設定についてはヘルプを参照してください。

終了のしかた

ダイアログボックス内の［閉じる］ボタンをクリックします。

ホームページを取り込んでザウルスに送信する

1 ブラウザーで取り込みたいホームページを表示します。

- アドレス欄にキーボードからURLを直接入力することはできません。

2 [クリップ] ボタンをクリックします。

- ホームページの内容がザウルスへ転送できる形式のファイルに変換され、ザウルス送信箱に登録されます。
- データを取り込んで変換中は [クリップ] ボタンは [中断] に変わります。このとき、[中断] ボタンをクリックすると、中断します。

3 次回、ザウルスと接続すると、ザウルスの「インターネットライブラリ」に入ります。

以下はザウルス側の操作です。

4 「インターネットライブラリ」画面で見たいホームページ名をタッチすると、表示します。

制限事項・注意点

このソフトウェアの使用上、以下のような制限事項および注意点があります。(ヘルプの「1.4 制限事項について」および「2 ご注意いただきたいこと」も併せてご覧ください。)

制限事項

- Java アプレットや Java スクリプト、VB スクリプトを使用しているホームページや各種のプラグインに対応した機能を持つホームページなど、本ソフトウェアで取り込むことができないホームページがあります。また、取り込んだホームページのデータをザウルスに転送した場合、内容によっては正しく表示できない場合があります。(ザウルスに搭載されているブラウザーの制限事項については、お使いのザウルスの取扱説明書の「インターネット」の章をご覧ください。)
- 取り込めるページは、画面上に見えているページのみです。リンクされているページは取り込めません。
- 取り込むことができるページのデータサイズは、最大約 200KB です。

注意点

- ホームページクリップユーティリティーが起動された時点で、画面の「アドレス」欄に取り込む対象のURLが入っていない場合には、取り込めません。WWWブラウザーで取り込みたいページに切り替えてから取り込んでください。
- フレーム構成のページで、子画面を表示させてもURL（ホームページアドレス）が変わらないページは、表示されている子画面を正しく取り込むことができません。
- SSL暗号化通信に対応したホームページ（セキュアなホームページ）は取り込めません。なお、セキュアなホームページは、WWWブラウザーで表示させた場合、画面下部にロックされている鍵のアイコンが表示されるのでわかります。
- ホームページ画面上でIDとパスワードを入力してから表示されるホームページの内容は、正しく取り込めない場合があります。
- 画像だけで構成されるホームページは正しく取り込めません。
- パソコンのハードディスクなどにあるファイルをWWWブラウザーで開いて表示したときには、取り込めません。
- 使用時の通信回線やWWWサーバーの状況により、正しく取り込めない場合があります。

バックアップ／リストア

ザウルスのデータをパソコンにバックアップし、バックアップしたデータをザウルスに戻す（リストア）ことができます。

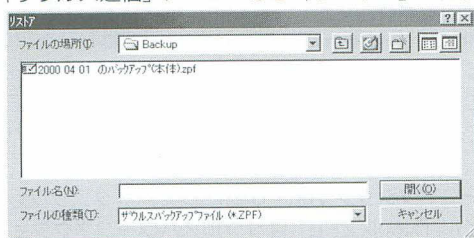
バックアップ / リストアのしかた

バックアップのしかた

バックアップ操作のしかたは、かんたん操作ガイドの「④ザウルスのデータをバックアップしよう」をご覧ください。

リストアのしかた

1. ザウルスとパソコンを接続します。（24 ページ参照）

2. 「ザウルス通信」メニューから「リストア」を選択します。

3. バックアップファイルを選択します。
   - 本体メモリーにリストアするのか、カードメモリーにリストアするのか、自動的に判別されます。

4. ［開く］をクリックし、表示される確認画面で［OK］をクリックします。

5. ザウルス側で PC リンク（Power リンク）の実行開始操作（44 ～ 46 ページの「ザウルスの操作」参照）を行います。
   - リストアが開始されます。

6. リストアが終了すると、「終了しました」のメッセージが表示されます。
   - ［OK］ボタンをクリックします。

制限事項・注意点

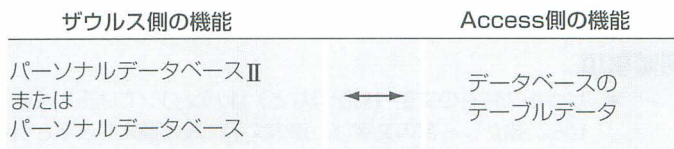
- リストアとシンクロナイズは絶対に同時に実行しないでください。シンクロナイズ中にリストア機能を実行すると、データが壊れたり消失したりするなどの障害が発生します。
- シンクロナイズ実行後のザウルスにリストアを行うと、シンクロナイズ情報が変わってしまうため、次回のシンクロナイズは正しく実行できません。リストアを行った後にシンクロナイズを実行するときは、先にシンクロナイズ情報の初期化（ヘルプの「5.8 シンクロナイズ情報の初期化」参照）を行ってください。
- リストアを開始したら処理を中断しないでください。リストアは、ザウルス側のデータも削除も同時に行いますので、リストアを中断するとザウルス側のデータが削除された状態になります。ご注意ください。
- バックアップ後、ザウルスにMOREソフトが追加されるなどしてメモリーが不足している場合、リストアできません（リストア時、メモリー上のMOREソフトは消去されないため）。これはリストアの際、バックアップしたデータがメモリー不足で途中でカットされることを防止するための処置です。このような場合は、追加したMOREソフトを削除するなどして、メモリーの空きを確保してからリストアしてください。
- ザウルスパワーコネクションVer.1.0～2.0でバックアップしたバックアップファイル「xxxxx.ZPE」はザウルスパワーコネクションVer.3.2ではリストアできません。

ザウルスパワーリンクfor Microsoft Access 2000/97

機能の概要

ザウルスパワーリンクは、パソコン上のAccessとザウルスのパーソナルデータベースまたはパーソナルデータベースII（以降、パーソナルデータベースと表記）機能または対応するMOREソフトとの間でデータ転送を行う、Accessのアドインソフトです。

- Accessで作成したデータベースのテーブルデータを変換して、ザウルスのパーソナルデータベースに送信します。
- Accessで作成したデータベースのテーブルデータの形式を持つ1データをザウルスのパーソナルデータベースに送信します。
- ザウルスのパーソナルデータベースのデータを受信し、Accessのテーブルデータに変換します。

ザウルス側の機能		Access側の機能
パーソナルデータベースII または パーソナルデータベース		データベースの テーブルデータ

- パワーコネクションを使ってザウルスに送信することができるように、Accessのテーブルデータをザウルスのパーソナルデータベースで読み込めるCSVファイル形式に変換して保存できます。
- この機能を利用して、Accessで作成したデータベースのデータ（データベースに対応したフィールド構成のもの）をザウルスに転送して、外に持ち出して活用することができます。
- MI-EX1ではパーソナルデータベース機能を「マイコンテンツ」と呼びます。
- MI-J1にはパーソナルデータベース機能はありませんので、パソコン上のAccessとデータの送受信はできません。
- MI-E1には、2000年12月現在、パーソナルデータベース機能はありません。

- ザウルスパワーリンクは、Accessのデータをザウルス用に変換して送信するもので、Accessが持つデータの処理機能などを制御することはしません。

起動と終了

1. Access でデータベースファイルを開き、「ザウルス通信」メニューから操作したい項目を選択します。
   - 送受信後、あるいは通信設定を完了後 Access の画面に戻ります。

使いかた

- 使いかたは、ヘルプの「4 送信・受信のしかた」をお読みください。
- ヘルプは、Access の「ヘルプ」メニューの中の「ザウルスパワーリンク for Microsoft(R) Access 2000/97 ヘルプ」を選択すると、目次のページが表示されます。

制限事項・注意点

このソフトウェアの使用上、以下のような制限事項および注意点があります。（ヘルプの「1.4 制限事項について」および「2 ご注意いただきたいこと」も併せてご覧ください。）

制限事項

- ザウルス特有の文字（絵記号など）はパソコンでは正しく表示されません。また、一部の文字は、別の文字に置き換えて表示されることがあります。（例：㈹ など）
- パソコンへ受信し、そのデータをそのままザウルスへ送信した場合でも変換仕様によりデータ型が異る場合があります。この場合、ザウルス側で追加受信を指定していても、別の新規データベースとして扱われます。

  ただし、本アプリケーションで 1 度変換してザウルスに送信されたデータベースのデータは、データ型変換仕様が一致するため、2 度目以降は、既に登録されているデータベースへの追加受信として扱われます。

パソコンへ受信する場合の制約

- Access でデータベースを開いていない状態では使用できません。
- デフォルトのテーブル名としてザウルス上のデータベース名があらかじめ設定されます。既に登録されているテーブル名を指定すると、上書きで登録されます。

  テーブル名の入力用ダイアログボックスで［キャンセル］ボタンをクリックすると、確認のメッセージを表示後、受信データは廃棄されます。

- 受信したザウルスのデータベースデータのフィールド名に、Accessで使用できない文字が使用されていた場合、フィールド名設定のダイアログが表示されます。フィールド名を修正するとテーブルが生成されます。

ザウルスへ送信する場合の制約

- Accessから1テーブル単位で送信され、ザウルス側の受信の設定に従って保存されます。なお、ザウルス側で受信したとき、Accessのテーブル名とパーソナルデータベースのフォーム名が同じでも、Access側でフィールド項目の追加／削除やデータ型の変更などのテーブルデザインについての変更が行われたテーブルは、ザウルス側で新規フォームとして受信されることがあります。
- Accessのデータベースのデータをザウルスに送信する場合、項目数には次の制限があります。
  「メモ型／テキスト型、数値型、日付／時刻型の項目の総数」と「OLEオブジェクト型項目の総数に3を掛けた値」の合計が35以下であること。ただし、OLEオブジェクト型項目は最大10個です。
  また、OLE型画像だけで構成されるテーブルも、送信できません。
  (詳しくは、ヘルプの「6.2 送信（パソコン→ザウルス）時のデータ変換内容」をご覧ください。)

注意点

- パソコンからザウルスへデータ送信を行った後は、ザウルスのメモリー整理を行うことをお勧めします。メモリー整理については、ザウルスの取扱説明書を参照してください。
- ノートパソコンなど省電力機能のあるパソコンでシリアルポートへの電源供給が止まっている場合や、スクリーンセーバーなどが起動した場合、通信エラーとなることがあります。通信を行うには、あらかじめ省電力機能やスクリーンセーバーなどの機能を解除してから行ってください。
- クレードル / ケーブル通信で通信エラーが発生する場合、通信速度を順次下げてお試しください。
- ザウルスパワーリンクを使う場合、ザウルスパワーコネクションやPowerPIMMなどの通信ポートを占有するソフトウェアを動作させた状態では使用できません。通信ポートを占有する他のソフトウェアを終了させてからお使いください。

付　録

トラブルシューティング

パソコン連携ソフトを使っているときに考えられるトラブルについて、対処方法を説明します。

クレードルをお使いの場合のトラブルについては、クレードルの取扱説明書もご覧ください。

パソコンとの接続に関するもの

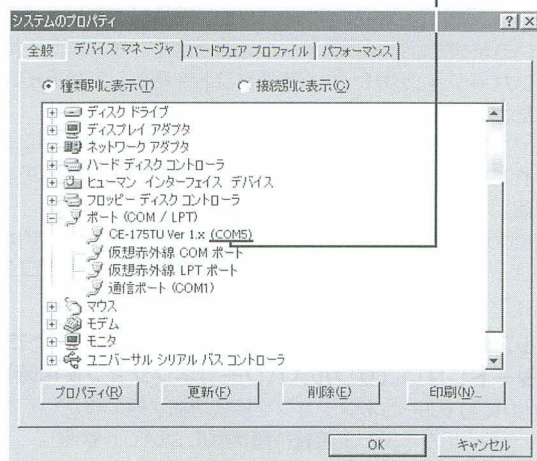
ザウルスとパソコンがUSB接続できない

- パソコン側のセットアップでUSBポートが使用できる状態に設定されているか確認してください。
- Windows 95からWindows 98やWindows Meなどにアップグレードしたパソコンでは、USBが使用できない場合があります。お使いのパソコンメーカーにお問い合わせください。
- パソコン側でUSB接続ケーブルを認識しない場合は、別のUSBコネクターに差し替えてみてください。
- COMポート番号が正しく設定されていないと、USB接続ケーブルで通信できません。以下の操作で確認し、設定してください。

❶ Windowsデスクトップ上の「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」を選択して「システムのプロパティ」ダイアログボックスを表示します。

- Windows 98/Windows Meの場合：「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- Windows 2000 Professionalの場合：「ハードウェア」タブをクリックし、[デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。

❷「ポート（COM/LPT)」の項目の「⊞」ボタンをクリックします。

【Windows 98の場合】　割り当てられているポート

この画面で「CE-175TU Ver 1.x」の右横に表示されているCOMポート（たとえば、上の画面では「COM5」）が、USB接続ケーブルで通信を選択したときに指定するCOMポートになります。
この通信ポートの設定がまちがっていると通信できません。

❸「ザウルスパワーコネクション通信条件設定」画面（ザウルスパワーコネクションヘルプの「3.4.2 通信条件設定」参照）の「使用するポート」に❷で確認したポート番号を指定します。

クレードル / パソコン接続ケーブルで接続できない

- RS-232Cコネクターが D-SUB9 ピン以外のパソコンに接続する場合は、別途市販の変換コネクターが必要です。（86ページ参照）
- パソコン側のセットアップでシリアルポートが使用できる状態に設定されているか確認してください。（83ページ参照）

赤外線通信（光通信）で接続できない

- Windows 98 や Windows 2000 Professional にアップグレードしたパソコンでは、赤外線通信が正常に働かない場合があります。パソコンメーカーにお問い合わせください。
- Windows Me の赤外線通信（光通信）には対応しておりません。

パソコン連携ソフトに関するもの

パソコン連携ソフトがインストールできない

- パソコンに古いバージョンのパソコン連携ソフトがインストールされている状態では、インストールできません。インストールされている古いバージョンのパソコン連携ソフトを削除してからインストールしください。
- パソコン連携ソフトに必要なソフトウェアがパソコンにインストールされていないと、インストールできない機能があります。（30ページ参照）
- Windows 2000 Professionalの場合は、Administrator権限を持つユーザー（通常、システム管理者と呼ばれます）がログオンしないとインストールできません。

ザウルス側でPCリンク（Powerリンク）をスタートさせても通信がスタートしない（ザウルスパワーコネクション使用時）

- ザウルスパワーコネクションを接続待機状態に設定してお使いください（ヘルプの「3.2.2 接続待機状態について」参照）。

通信エラーが発生する

- USB接続ケーブルでザウルスとパソコンが正しく接続されているか確認してください。
- **パソコン側で省電力機能が機能するように設定されていると、通信が正常に行えません。省電力機能は機能しないように設定しておいてください。**（省電力機能については、パソコンの取扱説明書を参照してください。）

※省電力機能は、パソコンによっては2箇所に分かれて設定する機種があります。１箇所はセットアップで、もう１箇所はWindowsのコントロールパネル内にある「電源管理」や「パワーマネージメント」（Windows 2000 Professionalの場合は、「電源オプション」）で設定します。

- スクリーンセーバーやウィルスチェック、定期的に割り込み処理がかかるアプリケーションソフト（時計）などが同時に動作していると通信エラーが発生することがあります。これらのソフトウェアを終了させてから再度通信を行ってください。

- クレードル / ケーブル通信時は、通信スピードを順次下げてお試しください。
  ザウルスパワーリンクでは、通信条件設定の転送スピードがザウルス側の設定と一致しているかどうか、「ザウルス通信」メニューの「通信設定」で確認してください。パソコンによっては、コントロールパネル内の「システム」をダブルクリックして開き、「デバイスマネージャ」タブをクリックして「ポート（COM / LPT)」の設定が必要なものもあります。
- ザウルスの充電池や乾電池が消耗していないか確認してください。ACアダプターを接続するか、新しい乾電池に交換してください。

ザウルスにデータ送信できない

- ザウルスのメモリーに十分な空き容量があるか確認してください。
- USB 接続ケーブルでザウルスとパソコンが正しく接続されているか確認してください。
- ザウルスに送信しようとするデータをザウルス側で利用する機能が組み込まれているか確認してください。

クレードル / ケーブル通信でザウルスパワーコネクションの通信が開始されない

- クレードル / ケーブル通信時は、実際にケーブルが接続されている通信ポートと、プロパティの「通信設定」で設定している通信ポートは合っていますか。また、通信条件の設定はザウルス側と合っていますか。
- ザウルス側の PC リンクの設定が「Power リンク」になっていますか。設定の方法はザウルスパワーコネクションのヘルプの「A 付録」の A.1.1 項または A.2.3 項をご覧ください。
- 使おうとしているアプリケーション以外のアプリケーションが通信ポートを占有して使えなくなっていませんか。使用するアプリケーションソフト以外のソフトウェアは終了させてから再度通信を行ってください。
- ザウルスパワーコネクションの「ザウルス通信」メニューから「接続待機状態にする」にチェックが付いていますか。

通信できない、通信時間が異常に長くかかる

- **パソコン側で省電力機能が機能するように設定されていると、通信が正常に行えません。省電力機能は機能しないように設定しておいてください。**（省電力機能については、パソコンの取扱説明書を参照してください。）

※省電力機能は、パソコンによっては2箇所に分かれて設定する機種があります。1箇所はセットアップで、もう1箇所はWindowsのコントロールパネル内にある「電源管理」や「パワーマネージメント」で設定します。

- ザウルスのメモリー空き容量に余裕がありますか。
  パソコンと通信を行う場合、ザウルス側のメモリーに空き容量が必要です。空き容量が少ないと、通信時間が長くなったり、通信ができないことがあります。ザウルスに登録されているデータの内容によっては、メモリー使用量を70%以下に減らしていただく必要がある場合もあります。また、通信終了後もメモリー容量を確認して、必要に応じてメモリー整理を行ってください。

ザウルスパワーコネクションをインストールすると、他の通信ソフトが動作しなくなった

- ザウルスパワーコネクションの「ザウルス通信メニュー」から「接続待機状態にする」のチェックを外してください。

シンクロナイズできない

- ザウルスパワーコネクションのメイン画面で、「シンクロナイズ」の項目にチェックが入っているか確認してください。
- 「接続されているザウルスは、他のPCリンクソフトでシンクロナイズされています。ザウルス側でシンクロナイズ解除してください。」のメッセージが表示されたときは、ザウルスのPCリンク画面で［機能］キーに続けて［順送り］キーにタッチして、シンクロナイズの解除を行ってください。

メール転送ができない

- ご使用のメールソフトの設定が行われていますか。
  39ページを参照して設定してください。

通信中のフォーマットおよび動作ソフトウェアについて

- バックアップやファイル転送中に、パソコンを操作してディスクのフォーマット処理を行うと、データが正しく転送されません。このため、バックアップしたデータはリストアでザウルス本体に戻すことができません。通信中はディスクのフォーマット処理は決して行わないでください。
  また、スクリーンセーバーやウイルスチェック、定期的に割り込み処理がかかるアプリケーションソフト（時計）などが同時に動作していると、通信エラーが発生することがあります。これらのソフトウェアを終了させてから通信を行ってください。

バックアップしたデータがリストアできない

- バックアップ後、ザウルスにMOREソフトが追加されるなどしてメモリーが不足している場合、リストアできません（リストア時、メモリー上のMOREソフトは消去されないため）。これはリストアの際、バックアップしたデータがメモリー不足で途中でカットされることを防止するための処置です。このような場合は、追加したMOREソフトを削除するなどして、メモリーの空きを確保してからリストアしてください。

ケーブル通信・光通信の使いかた

ザウルスとパソコン間でデータをやりとりする方法には、USB 接続ケーブルを使う以外に 、クレードル / ケーブル通信や光通信を使って行うこともできます。
この章では、光通信、ケーブル通信に必要な機器やパソコンとの接続方法、光通信の利用方法について説明します。ザウルスパワーコネクションやザウルスパワーリンクで、光通信やケーブル通信の設定を行う方法については、それぞれのソフトウェアのヘルプをご覧ください。
クレードルを使っての通信のしかたは、クレードルに付属の取扱説明書をお読みください。

ケーブル通信を使用する場合に必要なもの

パソコン接続ケーブル CE-170TS（別売品）※ 1
パソコン接続ケーブル CE-155TS（別売品）※ 1、※ 2
RS-232C レベルコンバータ CE-150TS（別売品）※ 2、※ 3

※ 1 RS-232C コネクターが D-SUB9 ピン以外のパソコンに接続する場合は、別途市販の変換コネクターが必要です。
※ 2 別売のオプションポート変換アダプター CE-HA15 が必要です。
※ 3 RS-232C コネクターが D-SUB9 ピンまたは D-SUB25 ピン以外のパソコンに接続する場合は、別途市販の変換コネクターが必要です。

光通信を使用する場合に必要なもの

IrDA 対応の光通信ポートを装備したパソコン　※ 4

※ 4　日本語版 Windows 98/2000 Professional 搭載のパソコン（PC-9800 シリーズを除く）

光通信ポートについて

光通信を行うには、パソコン側にマイクロソフト社の赤外線通信ドライバが必要です。（パソコンによっては、マイクロソフト社の赤外線通信ドライバを動作させるための専用のドライバがさらに必要な場合もあります。）

- パソコン側のセットアップで光通信ポート（IR ポート）が使用可能な状態に設定されていることを確認してください。（パソコン側のセットアップについては、パソコンの取扱説明書を参照してください。）
- パソコンによっては、光通信の方式を IrDA か ASK かのどちらにするか切り替えるようになっています。その場合は、IrDA が選択されていることを確認してください。（選択のしかたは、パソコンの取扱説明書を参照してください。）

● 省電力機能が機能するように設定されていると、通信が途中で停止して通信が正常に終了しません。省電力機能は機能しないように設定しておいてください。(省電力機能については、パソコンの取扱説明書を参照してください。)

パソコンのポートについて(必ずお読みください)

クレードル/ケーブル通信でザウルスとパソコンを接続する場合、パソコン側のCOM(シリアル)ポートを使用します。

ポートについて

パソコンには、シリアル通信、モデム、光通信などの各種通信のためのポートが用意されています。
しかし、通常、ハードウェアやシステム構成の制約などから、これらをすべて独立・並行して機能させることができません。
そこで、パソコンの使用者が目的に合わせてどの機能を使うかを切り替えて使用するように設計されているのが一般的です。
たとえば、1つのポートをシリアル通信とモデムを切り替えて使用するように設計されたパソコンで、出荷時にモデムが機能するように設定されている場合は、シリアル通信ポートがパソコンの側面に見えていても、そのままでは使用できません。この切り替えは、パソコン側のセットアップなどで行います。

パソコン側のセットアップについて

パソコン側のセットアップは、ポートの切り替えの他に、パソコンのシステム内容や機能を変更したり、ハードウェア構成を表示するなどの目的のためにも使用します。
パソコン側のセットアップの起動方法は、以下の例のように、パソコンによって異なります。(詳しくは、パソコンの取扱説明書を参照してください。)

- パソコンに電源を入れてWindowsが起動するまでの間に特定のキーを押すと起動するもの。
  【例】"Press <F1>key to enter SETUP" と表示されている間に、
  [F1] キーを押す。
- 特定のキーを押しながらパソコンに電源を入れると起動するもの。
- ハードディスクにインストールされているセットアッププログラムを起動するもの。
- セットアッププログラムの入ったフロッピーディスクまたはCD-ROMをドライブにセットして起動するもの。

- Windows のユーティリティプログラムで行うものもあります。
- お使いのパソコンのセットアップの起動方法と使いかたは、パソコンの取扱説明書の「セットアップ」、「セットアップユーティリティ」、「BIOS の設定」といった名前、またはこれに近い内容の項目名を目安に記載場所を探してお読みください。
  なお、Windows やプログラムのインストール、コンピュータの配線から電源を入れるまでの操作を「セットアップ」と呼ぶ場合もあります。これらは、ここで取り上げている「パソコン側のセットアップ」とは別のものです。
- **パソコン側で省電力機能が機能するように設定されていると、通信が途中で停止して通信が正常に行えません。省電力機能は機能しないように設定しておいてください。**（省電力機能については、パソコンの取扱説明書を参照してください。）

※省電力機能は、パソコンによっては 2 箇所に分かれて設定する機種があります。1 箇所は前述のセットアップで、もう 1 箇所は Windows のコントロールパネル内にある「電源管理」や「パワーマネージメント」（Windows 2000 Professional の場合：「電源オプション」）で設定します。

通信設定のしかた

USB 接続ドライバーをインストールせずにシリアルポートで使用する場合、パソコン連携ソフトのインストールが正常に終了したとき、以下のように設定されています。

通信方法	：「クレードル / ケーブル通信」
ポート	：パソコンの使用可能な COM（シリアル）ポートを探して設定（例：COM1）
転送スピード	：115200 bps
通信設定	：接続待機状態でザウルス側で PC リンク（Power リンク）の実行開始操作（44 ～ 46 ページ）を行うと、いつでも通信が開始できる状態に設定されています。接続待機状態でないと、通信開始操作を行っても通信は開始されません。

パソコンとの接続のしかた

パソコンとザウルスとの間の通信を「光通信」で行うか、「ケーブル通信」で行うかにより、次のように接続のしかたが異なります。

- ザウルスパワーコネクションをお使いのときは、光通信、ケーブル通信のいずれの場合も、接続待機状態に設定してお使いください（ザウルスパワーコネクションのヘルプの「3.2.2 接続待機状態について」参照）。

1 パソコンとザウルスの電源を共に切ります。

2 パソコンとザウルスを接続します。

[光通信を行うときの接続例]

ザウルスの光通信端子とパソコンの光通信ポートを適切な距離（お使いのザウルスの取扱説明書をご覧ください）でまっすぐ向かい合うように置いてください。

光通信で正常に接続できないときは

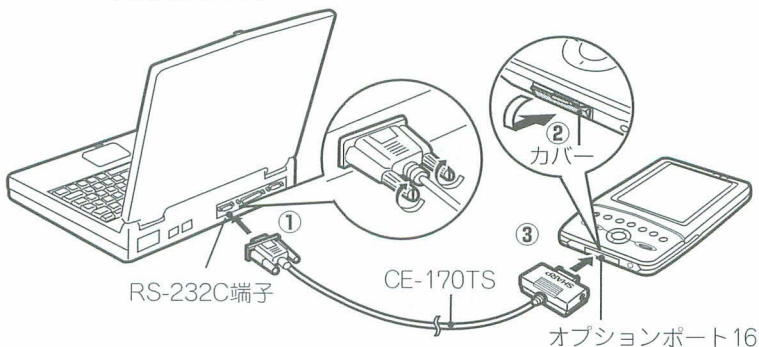
- パソコンとザウルスが光通信で正しく接続できる状態になっているか確認してください。
- 87 ページを参照して、光通信に必要な設定が正しく行われているか確認してください。
- 光通信ポートが他のアプリケーションで占有されていないか確認してください。

[ケーブルによる通信を行うときの接続例]

別売のCE-170TSを使ってザウルスをパソコンに接続する場合

①CE-170TSの9ピンコネクターをパソコンのRS-232Cコネクターに接続します。

②ザウルスのオプションポート16のカバーを開いて収納します。

③CE-170TSのもう一方のコネクターをザウルスのオプションポート16に接続します。

- RS-232CコネクターがD-SUB9ピン以外のパソコンに接続する場合は、別途市販の変換コネクターが必要です。
- 接続方法については、それぞれのパソコン接続ケーブルの取扱説明書も併せて参照してください。
- PC-9800シリーズ互換のパソコンをお使いの場合は、COM2のポートお使いください。

- PC-9800シリーズには、通信スピードが最高19200bpsや9600bpsの機種があります。これらの機種で通信を行う場合は、それぞれの最高スピードに合わせて通信をしてください。最高スピードよりも早いスピードに設定すると通信エラーが出ることがあります。

光通信を利用するには

光通信（IrDA）について

ザウルスは、IrDA方式の光通信（赤外線通信）に対応していますので、ノートパソコンなど、IrDA方式に対応した赤外線通信ポートを内蔵しているパソコンと光通信でデータのやり取りが行えます。

- ザウルスのIrDA方式の光通信機能はIrDA1.0（MI-E1ではIrDA1.2）に準拠しており、IrDA1.0およびIrDA1.1に対応した赤外線通信機能を持つパソコンと光通信が可能です（ただし、いずれの場合も通信速度は115kbpsになります）。

- お客様がWindows 98やWindows 2000 Professionalにアップグレードしたパソコンでは、赤外線通信機能が正常に働かない場合があります。パソコンメーカーにお問い合わせください。
- Windows Meの赤外線通信（光通信）には対応しておりません。
- PC-9800シリーズパソコンとザウルスとの通信は、クレードルまたはケーブルを使って行ってください。PC-9800シリーズパソコンに内蔵されている光通信ポートを使ってザウルスとの光通信はできません。

光通信（IrDA）を利用するとき

光通信ポートを内蔵しているパソコンの場合

Windows 98、Windows 2000 Professionalでは、IrDA方式の赤外線通信機能がサポートされています。お使いのパソコンが赤外線通信機能を使用できる状態になっているかどうか確認してください。もし使用できない状態の場合は、使用できる状態に設定してください。設定方法については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧になるか、パソコンメーカーにお問い合わせください。

シャープノートパソコン「メビウス」を使用する場合

購入時にWindows 98またはWindows 2000 Professionalがインストールされていたメビウスで「SHARP光通信ドライバ」がすでにインストールされている場合は、その「SHARP光通信ドライバ」をお使いになることで、IrDA方式による光通信が可能になります。
Windows 95からWindows 98にアップグレードしたメビウスには、「SHARP IR for Windows 98 Version 3.2」をインストールしてください。このドライバは、インターネットのホームページ「メビウスサポートステーション」（http://www.sbc.co.jp/mebius/lib/bin/SHARPIR.asp）

からダウンロードしてお使いいただけます（2000年10月現在）。

メビウスの設定

光通信ポートを使用するには、たとえば、お手持ちの「メビウス」のセットアップユーティリティのAdvancedメニューで「IR Mode」を「IrDA」（あるいは「IR Type」を「IrDA1.0」または「IrDA1.1」など）に設定します。（Advancedメニューで、「COM2」が光通信ポートに割り当てられていることを確認してください。）
具体的な操作は、メビウス本体の取扱説明書の中の「セットアップユーティリティ」の項目をお読みください。

SHARP IR for Windows 98 Version 3.2の設定について

お使いのメビウスのコントロールパネルを開くと、「赤外線モード」アイコンが表示されますので、この「赤外線モード」アイコンをダブルクリックします。開いたダイアログボックスが「IrDAモード」と「ASKモード」のどちらかを選択するタイプの場合は、「IrDAモード」を選択してください。
ダイアログボックスがポート番号を指定するタイプの場合は、お使いのメビウスの取扱説明書（またはSHARP IR for Windows 98（シャープ赤外線ドライバ）Ver. 3.2に付属の情報）に従って、ポート番号を指定します。
ただし、通常は、あらかじめ設定されているポート番号のままで使用できます。

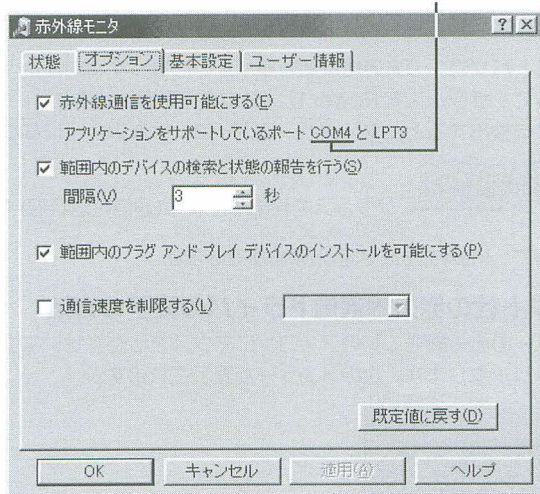
マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの使いかた

Windows 98 の場合

Windows 98 の場合を例に説明します。

1. Windows 98 の「コントロールパネル」画面を表示し、「赤外線モニタ」アイコンをダブルクリックします。「赤外線モニタ」画面が表示されます。

2. 「オプション」タブをクリックします。

「アプリケーションをサポートしているポート」

3. ［既定値に戻す］ボタンをクリックして設定を標準にします。

4. **この画面で「アプリケーションをサポートしているポート」の右横に表示されている COM ポート（たとえば、上の画面では COM4）が、各アプリケーションの通信設定で光通信を選択したときに指定する COM ポートになります。**この通信ポートの設定がまちがっていると通信できません。

5. 「基本設定」のタブをクリックして、「基本設定」画面にします。

6. ［既定値に戻す］ボタンをクリックして、設定を標準にします。

7 「OK」ボタンを押し、「赤外線モニタ」画面を閉じると、タスクバーに赤外線モニタのアイコンが表示されます。

赤外線モニタアイコン（動作中）

8 パソコン側の通信設定を行います。（各アプリケーションのヘルプ参照）
通信方式は、「IrDA」を選択してください。「使用するポート」または「ポート」には、2 の画面の「アプリケーションをサポートしているポート」の右横のCOMポートを選択してください。
赤外線モニタが動作していない状態では、IrDAによる通信はできません。

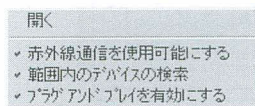
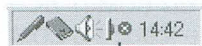
9 ザウルスとパソコンの光通信送受光部が互いに真っすぐ向き合うようにセットして、ザウルスをPowerリンクの実行画面にします。
ザウルスを検出すると、タスクバーのアイコンは次のようになります。

ザウルスを検出した状態(通信可能状態)

この状態で、IrDA方式による光通信ができます。

マイクロソフト社の赤外線通信ドライバの終了の方法

1 タスクバーの赤外線モニタのアイコンにマウスを移動させ、マウスの右ボタンをクリックします。次のメニューが表示されます。

開く
✓ 赤外線通信を使用可能にする
✓ 範囲内のデバイスの検索
✓ プラグ アンド プレイを有効にする

2 「赤外線通信を使用可能にする」を選択してクリックします。「赤外線通信を使用可能にする」の前にあるチェックマークが消えます。赤外線モニタのアイコンは次のようになります。

赤外線モニタ(動作していない状態)

再度、赤外線モニタを起動させるには、タスクバーの赤外線モニタのアイコンにマウスを移動させてマウスの右ボタンをクリックします。「赤外線通信を使用可能にする」を選択してクリックします。「赤外線通信を使用可能にする」の前にチェックマークが付きます。

● IrDA方式で通信を行う場合、必ず赤外線モニタを動作中の状態にしておいてください。
赤外線モニタのショートカットを作成してデスクトップに配置すると、赤外線モニタの立ち上げを簡単にすることができます。
ショートカットの作成方法については、Windows 98のファーストステップガイドまたは、ヘルプなどを参照してください。

Windows 2000 Professionalの場合

Windows 2000 Professionalが最初からインストールされ、IrDA対応の光通信ポートを装備したパソコンは、通常そのままで光通信が行える状態になっています。

1 ザウルスとパソコンの光通信送受光部が互いに真っすぐ向き合うようにセットして、ザウルスをPowerリンクの実行画面にします。ザウルスを検出すると、タスクバーに次のようにアイコンが表示されます。

赤外線モニタアイコン（検出状態）

この状態で、IrDA方式による光通信ができます。
アイコンが表示されないときは、ヘルプの「A.2 光通信を使っての通信のしかた」をお読みください。

2 通信中は、アイコンに変わり、通信が終了するとアイコンが消えます。

用語解説

JAVAアプレット/JAVAスクリプト

コンピュータ言語の一種のJava規格上で動作するプログラム（アプレット）。Java規格に沿って書かれたテキスト形式のプログラム。ホームページの表示に動きを持たせたりする場合などに利用されます。

OLE

Object Linking and Embedingの略で、Windows上のアプリケーション間でデータをやりとりするための方法。

URL（Uniform Resouce Locatorの略）

インターネット上のサービスを指定するための名前。通常「ホームページアドレス」と呼ばれます。

USB（Universal Serial Busの略）

キーボードやマウスなどの周辺機器をシリアル通信で接続するための規格。USB接続ケーブルCE-175TUは、パソコンのUSBコネクターに接続して使用します。

VBスクリプト

コンピュータ言語の一種のVisual Basic規格に沿って書かれたテキスト形式のプログラム。ホームページの表示に動きを持たせたりする場合などに利用されます。

WWW（World Wide Webの略）／WWWブラウザー

インターネット上で文字、画像、音声などの情報を閲覧できるシステム。この情報を閲覧するためのソフトウェアがWWWブラウザーです。

インストール、アンインストール

プログラムをコンピュータ（パソコン）に組み込む（記憶させる）ことを「インストール」といいます。本ソフトウェアはCD-ROMからパソコンにインストールして利用します。プログラムをパソコンから削除することを「アンインストール」といいます。

クリック

ウィンドウのボタンを押したり、項目を選択するときなどに、マウスのボタンを1回押します。何も指定がない場合は、マウスの左側のボタンを押します。

クレードル

「Cradle：ゆりかご、架台」の意味を持ちます。ザウルスを使いやすく保持し、パソコンとの接続を容易に行います。

シンクロナイズ

2つのシステム間（ここでは、ザウルスとパソコン上のOutlookの指定のデータ）のお互いの更新日を調べ、新しい方のデータに更新する機能です。

セキュアなホームページ

盗聴されても解読できないように情報を暗号化してデータをやりとりするホームページ。インターネットを使った通信販売などで必要なクレジットカード情報のやりとりなどに利用します。

セットアップ

パソコンのシステム内容や機能を変更したり、ハードウェア構成を表示、プログラムをインストールすることなど、いろいろな使いかたをされます。

ダブルクリック

ファイルを開いたり、実行するときなどに、マウスのボタンをすばやく2回押します。何も指定がない場合は、マウスの左側のボタンを押します。

ドライブ

フロッピーディスクやCD-ROM、ハードディスクなどの記憶装置のこと。これらには「A」「B」「C」…「Z」の名前が割り当てられます。「A」の場合、ドライブAまたはAドライブと呼びます。

ドラッグアンドドロップ

選択したいアイコンのところでマウスの左ボタンを押したままで、そのアイコンを処理したいアイコンの上まで移動させ（ドラッグ）、アイコンの上でマウスの左ボタンを離す（ドロップ）一連の操作をいいます。

アドイン

あるアプリケーションに機能を組み込んで利用できる方法をアドインと言い、組み込むソフトウェアをプラグインと呼びます。

プロパティ

ファイルやフォルダの名前や種類、サイズなどの情報および設定内容を意味します。

ポート

パソコンのデータの出入口のことをいいます。ザウルスといパソコンを接続する際、USB 接続ケーブルの場合はパソコンの USB ポートを、クレードル / ケーブル通信の場合は RS-232C ポートを使います。

リンク

関連あるものを連結させること。たとえば、あるホームページから関連ある項目や関連する他のホームページへクリックするだけで移動できるようにしたもの。

アフターサービスについて

◆保証について

1. この製品には取扱説明書に保証書がついています。
   保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. 保証期間はお買いあげの日から１年間です。
   保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. 保証期間後の修理は…
   修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

◆修理を依頼されるときは

1. 本書をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
2. それでも異常があるときは使用をやめて、お買いあげの販売店にこの製品を お持込み のうえ、修理をお申しつけください。ご自分での修理はしないでください。
3. アフターサービスについてわからないことは…
   お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

◆お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、もよりのシャープお客様ご相談窓口へお申しつけください。付属の「お客様ご相談窓口のご案内」のとおり、全国にお客様ご相談窓口を設けております。

保証書（保証規定）

本書は、本書記載内容で無料修理させていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買いあげの販売店にご依頼ください。お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買いあげの販売店にお申し出ください。
ご転居・ご贈答品でお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、製品に同梱しております「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧のうえ、もよりのサービス会社へご持参、またはお送りください。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買いあげ販売店、または当社サービス会社が無料修理いたします。ただし、郵送いただく場合の郵送料金・梱包費用などはお客様のご負担となります。
なお、故障の内容によりまして、修理にかえ同等品と交換させていただくことがあります。

2. 保証期間内でも、次の場合は有料修理となります。
(イ) 本書のご提示がない場合。
(ロ) 本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
(ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
(ニ) お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
(ホ) 火災・地震および風水害その他天災地変など、外部に要因がある故障・損傷。

3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
(THIS WARRANTY CARD IS ONLY VALID FOR SERVICE IN JAPAN.)

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいましてこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきまして、おわかりにならない場合はお買いあげの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

修理メモ

〈郵送についてのお願い〉

郵送される場合には次のことをご注意ください。

1. 保証期間中であるときは、本書を製品に同梱ください。
2. 製品は緩衝材に包んでボール箱に入れるか、または郵送用の袋（メールパック：文具店などでお求めいただけます）などに入れ、輸送中の損傷を防ぐようご配慮ください。
3. 紛失などを防ぐため、簡易書留をご利用ください。

シャープ USB接続ケーブル 保証書
(WARRANTY CARD)

持込修理

品　名	USB接続ケーブル
形　名	CE-175TU
保証期間 (VALIDITY)	お買いあげ日より本体1年間 (FULL 1 YEAR AFTER PURCHASE)
お買いあげ日 (PURCHASE)	年　月　日

お客様	お名前	様
	ご住所	〒
	電話番号	(　　)　　ー

取扱販売店名・住所・電話番号

印

シャープ株式会社
〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
電話 (06) 6621-1221 (大代表)

CE-PCK1 取扱説明書

補 足 説 明

パソコン連携キットをご使用いただく際、次の点にご注意ください。
本内容やホームページのURLは、該当ソフトウェアのバージョンアップなどのために、予告なく変更されることがあります。　(2000 年 11 月現在)

USB 接続ドライバーソフトについて

・パソコンの USB コネクターや USB ハブによっては、USB 接続ケーブルを接続しても動作しないことがあります。複数のコネクターがある場合は、他のコネクターで動作することもあります。

・ザウルスパワーコネクションをご使用中に、パソコンによっては、USB 接続ケーブルを抜き取った時にエラーが表示される場合があります。この場合は、ザウルスパワーコネクションの「ザウルス通信メニュー」の「接続待機状態にする」に付けられているチェックマークを外してください。また、他の通信ソフトをご使用される場合も、この「接続待機状態にする」のチェックマークを外してください。

・パソコンによっては、省電力モード(サスペンド/レジューム機能、スリープ機能など)やスクリーンセーバーで動作しなくなる場合があります。この場合は、省電力モードやスクリーンセーバーを無効(なし)に設定してください。

・インストール後に起動しなくなるパソコンがあります。この場合は、パソコンの電源オフ中に USB 接続ケーブルをいったん抜き取り、パソコン起動後、USB 接続ケーブルを接続してください。

ザウルスパワーコネクションのメール転送機能について

・ヘルプの「6.3 使用メールソフト側の設定」を参照して、ご使用のメールソフトの設定を行なってください。

・パソコンからザウルスへ受信メールを転送すると、発信日時はパソコンの受信日時になります。

・メールが多くなると、処理時間が長くなります。転送対象期間外のメールを送信トレイ(送信フォルダ)／受信トレイ(受信フォルダ)以外のフォルダへ整理いただくと速くなります。

(裏面に続きます)

シンクロナイズ機能および Outlook のメールをご使用のお客様へ

・ウイルス被害防止目的で Outlook の連絡先データやメールの書き換えなどを禁止するアップデートソフトが公開されています。このソフトはザウルスパワーコネクションの機能を制限しますので、インストールしないでください。アップデートソフトの制限については、次の Microsoft 社のホームページをご参照ください。

http://www.officeupdate.com/japan/downloaddetails/2000/Out2ksec.htm

Outlook Express をご使用のお客様へ

・ザウルスから未送信メールを転送すると、バージョンによっては、そのメールをすぐに発信します。

・ザウルスから受信メールを転送すると、Outlook Express の受信一覧表に差し出し人が表示されません。次の Microsoft 社のホームページでこの情報は公開されています。

http://www.microsoft.com/japan/support/kb/articles/J054/4/32.htm

・ザウルスからパソコンへ受信メールを転送すると、受信日時、送信日時は転送日時になります。

・ザウルスの既読メールを転送すると、未読となるバージョンがあります。

Eudora をご使用のお客様へ

・メール転送情報の初期化時や対象メールが多いときに、Eudora からメールの読み込みに時間を要します。途中で、スクリーンセーバー等が動作すると、背景の再描画が間に合わないことがあります。また、Eudora から読み込み中にキャンセルされた場合も、読み込みが終了するまで中断できません。処理を終えるまで、お待ちください。

ザウルスパワーリンクをご使用のお客様へ

・ザウルスパワーリンクの光通信は、Windows 98 専用です。

TLSTS1001QCZZ（0010T）

お客様ご相談窓口のご案内

シャープ製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買いあげの販売店へ

なお、転居されたり、贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入などのご相談は…………（修理ご相談窓口）へ
- 製品に対するご意見・ご要望などは……………………（一般ご相談窓口）へ

修理ご相談窓口

シャープエンジニアリング株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地
北海道	札幌	(011) 641-4685	札幌市西区24軒1条7丁目3-17
	北見	(0157) 36-4649	北見市三輪435
	帯広	(0155) 21-6925	帯広市西8条南3丁目17
	苫小牧	(0144) 34-7740	苫小牧市本町2-6-10
	室蘭	(0143) 45-4649	室蘭市中島町1-9
	釧路	(0154) 25-4649	釧路市光陽町8-13
	旭川	(0166) 25-4649	旭川市一条通4丁目左10
	函館	(0138) 51-4649	函館市五稜郭町31-17
青森県	青森	(0177) 38-0281	青森市妙見3-3-4
	弘前	(0172) 27-4649	弘前市豊田3-5-1
	八戸	(0178) 44-4649	八戸市小中野2-8-16
秋田県	秋田	(018) 863-4649	秋田市川尻町大川反170-56
	横手	(0182) 33-4649	横手市横手町六の口5
岩手県	岩手	(019) 638-6087	紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1
	釜石	(0193) 23-4649	釜石市上中島町4-6-43
宮城県	宮城	(022) 288-9142	仙台市若林区卸町東3-1-27
山形県	山形	(023) 631-4649	山形市飯田2-7-43
	酒田	(0234) 24-4649	酒田市大町19-5
福島県	福島	(024) 945-4649	郡山市安積町荒井方八丁33-1
	会津若松	(0242) 25-4649	会津若松市山見町41-2
	いわき	(0246) 28-4649	いわき市自由ケ丘37-10
新潟県	新潟	(025) 285-3663	新潟市上所中1-7-21
	長岡	(0258) 23-1819	長岡市摂田屋町崩2600
栃木県	栃木	(028) 637-1179	宇都宮市不動前4-2-41
	小山	(0282) 62-5466	下都賀郡藤岡町藤岡5201
群馬県	群馬	(027) 252-4706	前橋市問屋町1-3-7
茨城県	茨城	(029) 241-4930	水戸市千波町1963
	南茨城	(0298) 57-9130	つくば市栗原2857-9
埼玉県	埼玉中央	(048) 666-7987	大宮市宮原町2-107-2
	埼玉東	(0489) 78-7101	越谷市南荻島346-1
千葉県	千葉	(043) 299-8840	千葉市美浜区中瀬1-9-2
	西千葉	(0473) 68-4766	松戸市稔台295-1
	東千葉	(0479) 79-1181	八日市場市高字東2779-4
	木更津	(0438) 37-7912	木更津市請西2-5-22
東京都	江東	(03) 3626-4642	東京都墨田区石原2-12-3
	城南	(03) 3776-2419	東京都大田区南馬込1-5-15
	城北	(03) 3972-4195	東京都板橋区東新町1-33-11
	世田谷	(03) 3707-3345	東京都世田谷区用賀3-8-18
	田端	(03) 5692-7765	東京都北区東田端2-13-17
	三多摩	(042) 586-6059	日野市日野台5-5-4
神奈川県	横浜	(045) 753-4647	横浜市磯子区中原1-2-23
	湘南	(0463) 54-4738	平塚市田村1381
	相模原	(0427) 59-4195	相模原市横山2-2-12
山梨県	山梨	(055) 228-5375	甲府市富竹2-1-17
静岡県	静岡	(054) 285-9340	静岡市曲金6-8-44
	沼津	(0559) 22-5249	沼津市宮前町11-4
	浜松	(053) 463-4680	浜松市植松町1476-2
長野県	松本	(0263) 27-4694	松本市芳野8-14
	長野	(026) 293-6262	長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1
愛知県	名古屋	(052) 332-2623	名古屋市中川区山王3-5-5
	岡崎	(0564) 24-2343	岡崎市柿田町1-21
	豊橋	(0532) 53-4647	豊橋市下地町橋口17-1
岐阜県	岐阜	(058) 273-4969	岐阜市六条南3-12-9
三重県	三重	(059) 232-6300	津市栗真町屋町蒲池328
富山県	富山	(076) 451-2459	富山市金泉寺71-1
石川県	金沢	(076) 249-2434	石川郡野々市町御経塚町1096-1
福井県	福井	(0776) 54-2459	福井市北四ツ居町625
滋賀県	滋賀	(077) 545-4692	大津市粟林町11-35
	彦根	(0749) 24-4643	彦根市東沼波町133
京都府	京都	(075) 672-2378	京都市南区上鳥羽菅田町48
	北近畿	(0773) 23-9151	福知山市末広町6-13
大阪府	大阪	(06) 6643-5331	大阪市浪速区恵美須西1-2-9
	堺	(0722) 45-4651	堺市老松町1-39
	東大阪(大阪TC)	(06) 6794-5611	大阪市平野区加美南3-7-19
	南大阪	(0724) 31-1950	貝塚市沢1215
	北大阪	(0726) 34-4519	茨木市鮎川5-15-3
兵庫県	兵庫	(078) 791-1541	神戸市須磨区弥栄台3-15-2
	神戸	(078) 453-4651	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
	阪神	(06) 6421-4877	尼崎市猪名寺3-2-10
	姫路	(0792) 66-1819	姫路市青山5-7-7
	豊岡	(0796) 23-7515	豊岡市九日市上町下畑77-1
奈良県	奈良	(0743) 53-6693	大和郡山市美濃庄町492
	奈良南	(0745) 65-1492	御所市茅原4-3
和歌山県	和歌山	(073) 445-4615	和歌山市西小二里2-4-91
	南紀	(0739) 25-3121	田辺市稲成町441-1
鳥取県	鳥取	(0857) 27-8831	鳥取市青葉町2-204
岡山県	岡山	(086) 292-1709	都窪郡早島町矢尾828
島根県	松江	(0852) 24-4810	松江市西津田3-1-10
広島県	広島	(082) 874-8149	広島市安佐南区西原2-13-4
	東広島	(0824) 28-7490	東広島市八本松東4-3-30
	福山	(0849) 51-7654	福山市津之郷町津之郷上開地
山口県	山口	(083) 972-0891	吉敷郡小郡町若草町4-12
	東山口	(0833) 44-0923	下松市西豊井173-1
香川県	香川	(087) 823-4901	高松市朝日町6-2-8
徳島県	徳島	(088) 625-4654	徳島市中常三島町3-11-14

（裏面につづく）

修理ご相談窓口

担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
愛媛県	愛　媛	(089) 971-4563	松山市高岡町178-1	長崎県	佐世保	(0956) 32-6666	佐世保市白岳町107-5
高知県	高　知	(0888) 82-4635	高知市高須960-1	大分県	大　分	(097) 552-2313	大分市松原町3-5-3
福岡県	福　岡	(092) 572-4652	福岡市博多区井相田2-12-1	熊本県	熊　本	(096) 364-4777	熊本市新屋敷3-15-17
	南福岡	(0942) 45-8211	久留米市御井旗崎3-7-14		天　草	(0969) 23-8711	本渡市港町19-3
	北九州	(093) 592-4677	北九州市小倉北区大手町6-12	宮崎県	宮　崎	(0985) 31-1832	宮崎市原町4-12
佐賀県	佐　賀	(0952) 24-9450	佐賀市鍋島町八戸五本松篭2043-2	鹿児島県	鹿児島	(099) 253-4600	鹿児島市鴨池新町12-1
長崎県	長　崎	(0957) 52-3511	大村市古賀島町613-3				

沖縄シャープ電機株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
沖縄県	那　覇	(098) 861-0866	那覇市曙2-10-1	沖縄県	先　島	(09807) 3-3603	平良市下里214-4
				鹿児島県	奄　美	(0997) 53-4777	名瀬市塩浜町8-1

一般ご相談窓口

シャープ株式会社

窓口	電話	所在地
東日本相談室	TEL (043) 299-8021 FAX (043) 299-8280	〒261-8520 千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL (06) 6794-8021 FAX (06) 6792-5993	〒547-0003 大阪市平野区加美南4-3-41

シャープエンジニアリング株式会社

窓口	電話	所在地
北海道支店消費者相談室	(011) 642-4649	〒063-0801 札幌市西区24軒1条7丁目3-17
東北支店消費者相談室	(022) 288-9147	〒984-0002 仙台市若林区卸町東3丁目1-27
首都圏支店消費者相談室	(03) 3893-4649	〒114-0013 東京都北区東田端2丁目13-17
中部支店消費者相談室	(052) 332-4649	〒454-8721 名古屋市中川区山王3丁目5-5
近畿支店消費者相談室	(06) 6794-7041	〒547-8510 大阪市平野区加美南3丁目7-19
中国支店消費者相談室	(082) 874-4649	〒731-0113 広島市安佐南区西原2丁目13-4
四国支店消費者相談室	(087) 823-4901	〒760-0065 高松市朝日町6丁目2-8
九州支店消費者相談室	(092) 572-4655	〒816-0081 福岡市博多区井相田2丁目12-1

所在地・電話番号などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。

料金受取人払

大和郡山局
承認
50

差出有効期間
2002年11月
30日まで

切手不要

郵便はがき

6391187

(受取人)
大和郡山郵便局 私書箱第2号
シャープ株式会社通信システム事業本部
モバイルシステム事業部 商品企画部
パソコン連携キット CE-PCK1
ご愛用者カード係行

※太枠内は必ずご記入ください。

ご住所	〒	都道府県	区市郡
フリガナ		TEL	( )
お名前		性別	1.男性 2.女性
年齢	1.〜19歳 2.20〜24歳 3.25〜29歳 4.30〜34歳 5.35〜39歳 6.40〜44歳 7.45〜49歳 8.50歳〜		
ご職業	1.営業/販売職(外勤) 2.営業/販売職(内勤) 3.事務職 4.総務/人事/経理 5.企画/調査 6.サービス職(外勤) 7.サービス職(内勤)	8.技術/研究職(ソフト関係) 9.技術/研究職(ハード関係) 10.経営職 11.学生(中・高・大・院・短・専) 12.フリーアルバイター 13.主婦(専業) 14.教職(小・中・高・大・短・専)	15.商工自営 ( ) 16.自由業 ( ) 17.その他 ( )
お買い上げ年月日	年 月 日	商品をお知りになったのは	1.新聞記事・広告 2.雑誌記事・広告 3.カタログ・ポスター 4.テレビ・ラジオ 5.チラシ・DM 6.販売店で 7.友人・知人から 8.催しで 9.インターネットで 10.その他 ( )
お買い上げ場所・店名	1.電気店 2.カメラ量販店 3.事務機・文具店 4.パソコンショップ 5.通信販売 6.その他 店名 店		
ご使用中のパソコン	メーカー ( ) OS ( )	商品名 (ノート・デスクトップ:) CPU、クロック数 ( )	

アンケートにご協力ください

a.お使いのザウルスの機種は(例：MI-E1,MI-C1,MI-P10など)

(機種名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

b.この商品のご購入の前にザウルスパワーコネクションをご使用になったことはありますか

1.はい（ご使用のバージョン：Ver.　　　　　　　　　）　2.いいえ

c.ご購入の決め手となったこの商品の特長は

1.パソコンとUSBで接続できるから
2.ザウルスパワーコネクションの最新版だから
3.WindowsMeに対応しているから
4.スケジュールなどのデータをパソコンと連携できるから
5.メールをパソコンと連携できるから
6.画像などのデータをパソコンと連携できるから
7.ホームページをザウルスに取り込めるから
8.パソコンのテキストをザウルスに取り込めるから
9.ザウルスのデータをバックアップできるから
10.パーソナルデータベースのデータをパソコンと連携できるから
11.値段が手頃だったから
12.その他(　　　　　　　　　　　　　　　　)

d.パソコンで主にどのメールソフトをご使用ですか

1.Outlook　2.Outlook Express　3.Eudora　4.その他(　　　　　　　　　)

e.パソコンで主にご使用のソフトをお聞かせください

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

f.USB接続ケーブルとパソコンの接続方法については

1.非常に満足　2.やや満足　3.どちらとも言えない　4.やや不満　5.非常に不満

(満足／不満足の理由をお聞かせください　　　　　　　　)

g.ザウルスパワーコネクションのシンクロナイズやデータ転送のスピードは

1.非常に満足　2.やや満足　3.どちらとも言えない　4.やや不満　5.非常に不満

h.ザウルスパワーコネクションの操作性は

1.非常に使いやすい　2.使いやすい　3.普通　4.使いにくい　5.非常に使いにくい
6.使用していない

i.ザウルスパワーリンクfor Access 2000/97の操作性は

1.非常に使いやすい　2.使いやすい　3.普通　4.使いにくい　5.非常に使いにくい
6.使用していない

j.パソコン連携キットをご使用になって全体として

1.非常に満足　2.やや満足　3.どちらとも言えない　4.やや不満　5.非常に不満

●パソコン連携キットに関してご意見、ご感想などありましたらお聞かせください

ご協力ありがとうございました